

平成22年度下半期
大瀨村財政報告書

秋田県大瀨村

大瀧村財政報告書の作成及び公表に関する条例(昭和51年大瀧村条例第9号)第2条の規定に基づき、平成22年度下半期(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの期間)における財政状況を次のとおり公表する。

平成23年5月2日

大瀧村長 高橋 浩 人

目 次

第1部 平成23年度当初予算の概要

はじめに	1 ページ
I 予算総額	2 ページ
II 一般会計	
1 歳入	4 ページ
2 歳出	8 ページ
3 主要な施策	10 ページ
III 特別会計	
1 水道事業	30 ページ
2 診療所	32 ページ
3 国民健康保険事業	34 ページ
4 公共下水道事業	36 ページ
5 介護保険事業	38 ページ
6 介護サービス事業	40 ページ
7 後期高齢者医療	42 ページ
IV 附属資料	
1 人件費	44 ページ
2 村債	46 ページ
3 基金	48 ページ
4 施設管理費の状況	49 ページ

第2部 平成22年度予算の状況

I 補正予算の状況	
1 一般会計	51 ページ
2 特別会計	54 ページ
II 予算執行の状況	
1 一般会計	55 ページ
2 特別会計	56 ページ

第3部 財産、公債及び一時借入金の現在高

1 財 産	58 ページ
2 公債及び一時借入金	72 ページ
3 基 金	72 ページ

第1部 平成23年度当初予算の概要

I 予算総額

一般会計の予算総額は4,970,370千円となり、前年度の当初予算と比較すると金額で1,500,000千円、増減率で42.4%の大幅増となっています。また、平成22年度3月現計予算(4,459,819千円)と比較すると金額で574,181千円、増減率で12.9%の増となっています。

増加の理由は、小・中学校校舎改築工事(1,140,000千円)、干拓博物館整備事業債繰上償還(416,800千円)、ふるさと交流施設増改築事業(120,015千円)、農山漁村活性化プロジェクト支援事業(86,000千円)、多目的グラウンド天然芝化新設事業(41,197千円)、などが挙げられます。

次に、特別会計の予算総額は全体で1,565,745千円となり、前年度の当初予算と比較すると金額で40,665千円、増減率で2.7%の増となっています。また、平成22年度3月現計予算(1,593,786千円)と比較すると金額で△28,041千円、増減率で1.8%の減となっています。

各会計別で特徴的なものを挙げると、公共下水道事業特別会計が前年度と比較すると金額で△15,084千円、増減率で11.0%の減となっています。これは秋田湾・雄物川流域下水道維持管理負担金が減額となったことによるものです。

また、国民健康保険、介護保険、介護サービスの予算額がここ数年増加傾向となっています。これは高齢化による給付額の増加が影響しているものと考えられます。

なお、老人保健(医療)特別会計が前年度で終了しましたが、予算額が13千円と小額だったため、特に影響はありませんでした。

表1 予算総額 (単位:千円,%)

会計名	平成23年度	平成22年度	比較増減	増減率
一般会計	4,970,370	3,534,000	1,436,370	40.6
特別会計	1,565,745	1,525,080	40,665	2.7
水道事業	146,445	141,973	4,472	3.1
診療所	66,861	64,788	2,073	3.2
国民健康保険事業	716,170	702,968	13,202	1.9
公共下水道事業	121,665	136,749	△15,084	△11.0
老人保健(医療)	0	13	△13	△100.0
介護保険事業	215,994	203,187	12,807	6.3
介護サービス事業	262,795	241,925	20,870	8.6
後期高齢者医療	35,815	33,477	2,338	7.0
合計	6,536,115	5,059,080	1,477,035	29.2

図1 一般会計の当初予算の推移

(単位:千円)

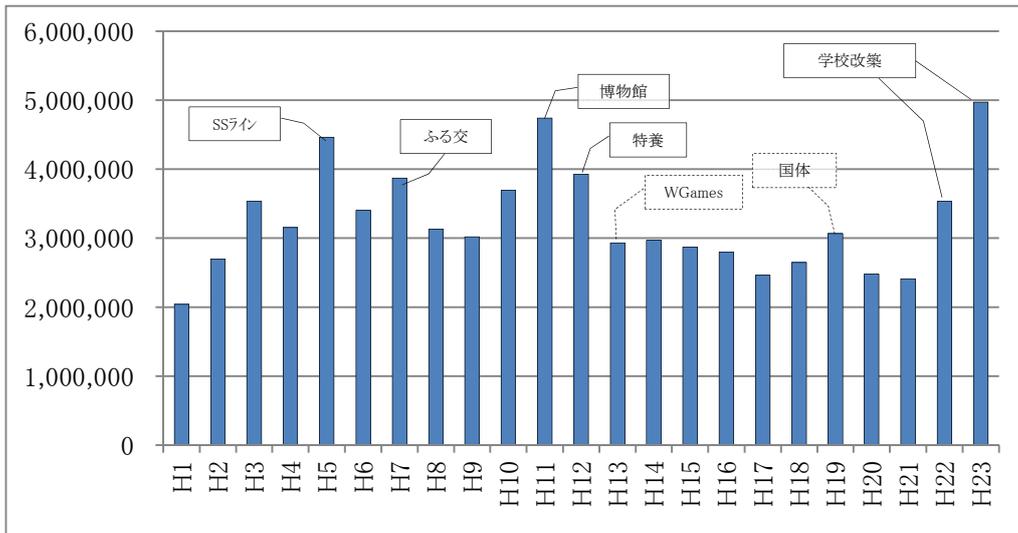


図2 特別会計総額の当初予算推移

(単位:千円)

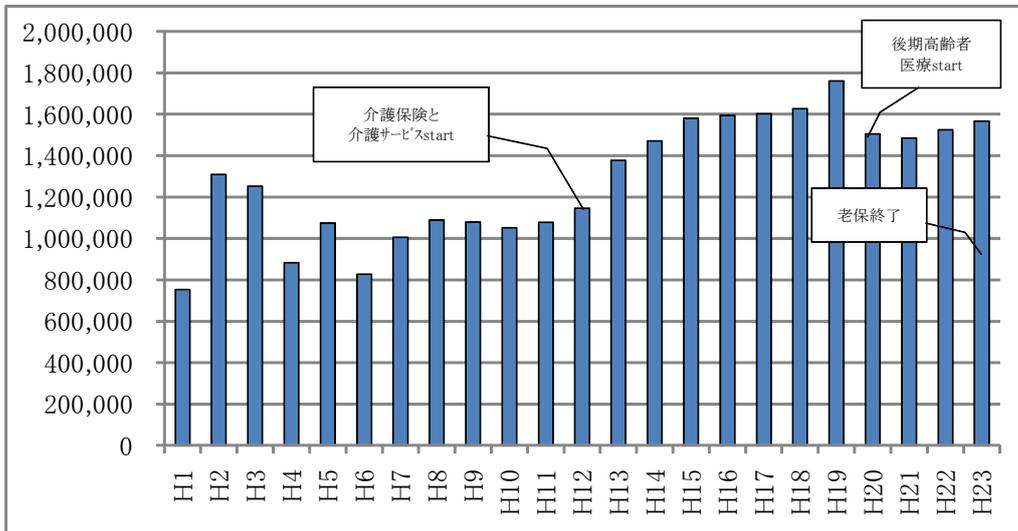
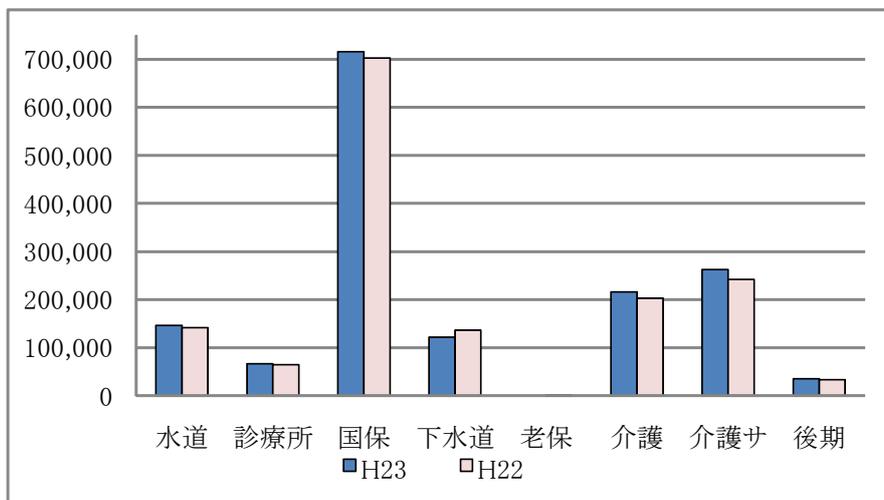


図3 特別会計ごとの前年対比

(単位:千円)



Ⅱ 一般会計

1 歳入

(1) 総額と内訳

歳入予算の計上にあたっては、政府の地方財政対策や前年度実績等を勘案して積算をしています。その中でも大きな割合を占める地方交付税については、政府の予算総額が17.4兆円と前年比0.5兆円の増となりましたが、算定方式の改正内容等を考慮し金額で△40,308千円、増減率で3.2%の減を見込んでいます。

23年度の特徴としては基金繰入金が大幅に増えており、減債基金390,000千円、小中学校建設整備基金160,000千円、財政調整基金99,000千円、観光振興基金70,000千円などを計上しており、予算額の増加分を賄う財源のひとつとなっています。

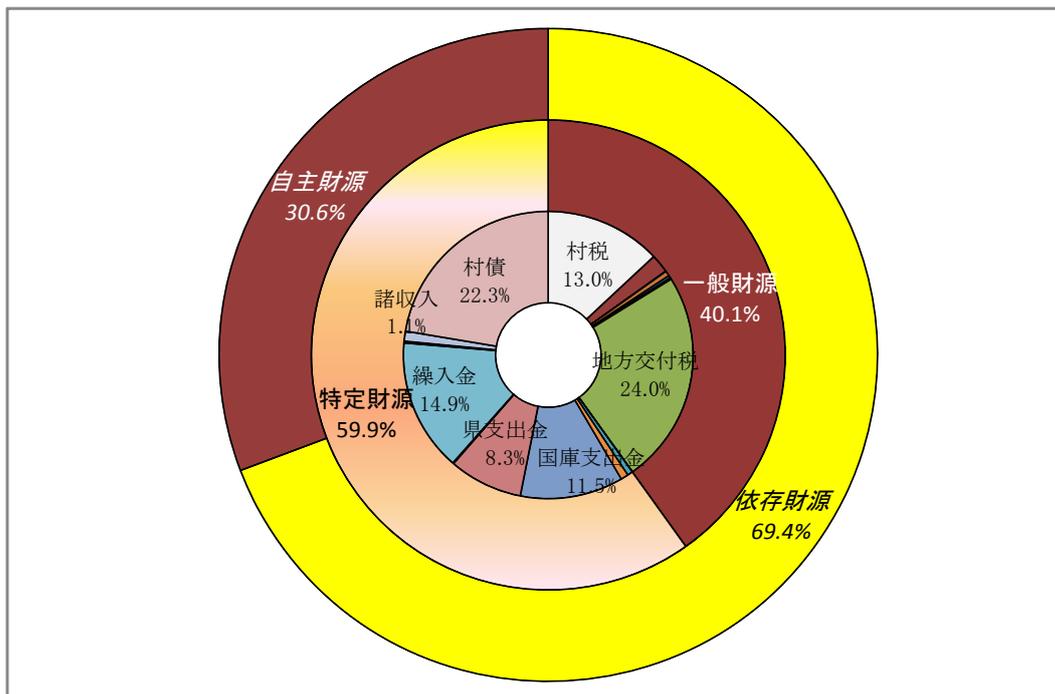
同様に村債も全体では442,400千円の増となりましたが、主に学校教育施設等整備事業債が434,000千円の増となったことが大きく影響しています。

表2 歳入予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 村税	653,778	13.2	709,324	20.1	△55,546	△ 7.8
2 地方譲与税	105,000	2.1	100,001	2.8	4,999	5.0
3 利子割交付金	1,500	0.0	2,000	0.1	△500	△ 25.0
4 配当割交付金	250	0.0	300	0.0	△50	△ 16.7
5 株式等譲渡所得割交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 地方消費税交付金	29,000	0.6	29,000	0.8	0	0.0
7 自動車取得税交付金	13,700	0.3	16,901	0.5	△3,201	△ 18.9
8 地方特例交付金	9,501	0.2	8,500	0.2	1,001	11.8
9 地方交付税	1,206,692	24.3	1,247,000	35.3	△40,308	△ 3.2
10 交通安全対策特別交付金	1,500	0.0	1,600	0.1	△100	△ 6.3
11 分担金及び負担金	30,117	0.6	31,236	0.9	△1,119	△ 3.6
12 使用料及び手数料	42,752	0.9	42,756	1.2	△4	0.0
13 国庫支出金	579,279	11.7	308,571	8.7	270,708	87.7
14 県支出金	415,552	8.4	210,100	6.0	205,452	97.8
15 財産収入	5,803	0.1	5,949	0.2	△146	△ 2.5
16 寄附金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
17 繰入金	685,370	13.8	101,000	2.9	584,370	578.6
18 繰越金	10,000	0.2	10,000	0.3	0	0.0
19 諸収入	56,573	1.1	28,159	0.8	28,414	100.9
20 村債	1,124,000	22.6	681,600	19.3	442,400	64.9
歳入合計	4,970,370	100.1	3,534,000	100.0	1,436,370	40.6

図4 歳入予算の構成比と財源区分別の内訳



《参考》

【特定財源】

財源の用途が特定されている収入のこと

- 分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入、村債

【一般財源】

財源の用途が特定されことなく、村の裁量でどのような経費にも使用できる収入のこと

- 村税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

【依存財源】

収入にあたって、国県の意思決定により、交付されたり割り当てられたりする収入のこと。

- 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県支出金、寄附金、村債

【自主財源】

村が自らの意思で額を設定し、収入することができる財源のこと。

- 村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入

(2) 村 税

村税は一般財源並びに自主財源の主力となる重要な財源です。

予算額は、653,778千円となり、前年当初予算対比では△55,546千円、増減率で7.8%の減を見込んでいます。

減額となった理由は、村民税(個人分)が大幅に減額すると試算したことによるもので、前年(平成22年)の米価、作柄ともに芳しくなかったことに起因しています。前年当初予算と比較すると、金額で△60,413千円、増減率で24.9%の減となります。なお、これ以外の税目で大幅な変動はないと試算しています。

平成22年度の最終現計予算との比較は表4のとおりです。

表3 村税の前年度の当初予算対比

(単位:千円,%)

款 名	平成23年度		平成 22 年 度			
	金 額	構成比	金 額	構成比	比較増減	
					金 額	増減率
1 村民税	198,899	30.4	258,572	36.5	△59,673	△23.1
個人分	182,686	27.9	243,099	34.3	△60,413	△24.9
法人分	16,213	2.5	15,473	2.2	740	4.8
2 固定資産税	387,798	59.3	384,611	54.2	3,187	0.8
3 軽自動車税	12,181	1.9	11,991	1.7	190	1.6
4 村たばこ税	13,500	2.1	13,650	1.9	△150	△1.1
5 入湯税	41,400	6.3	40,500	5.7	900	2.2
合 計	653,778	100.0	709,324	100.0	△55,546	△7.8

表4 村税の前年度の3月現計予算対比

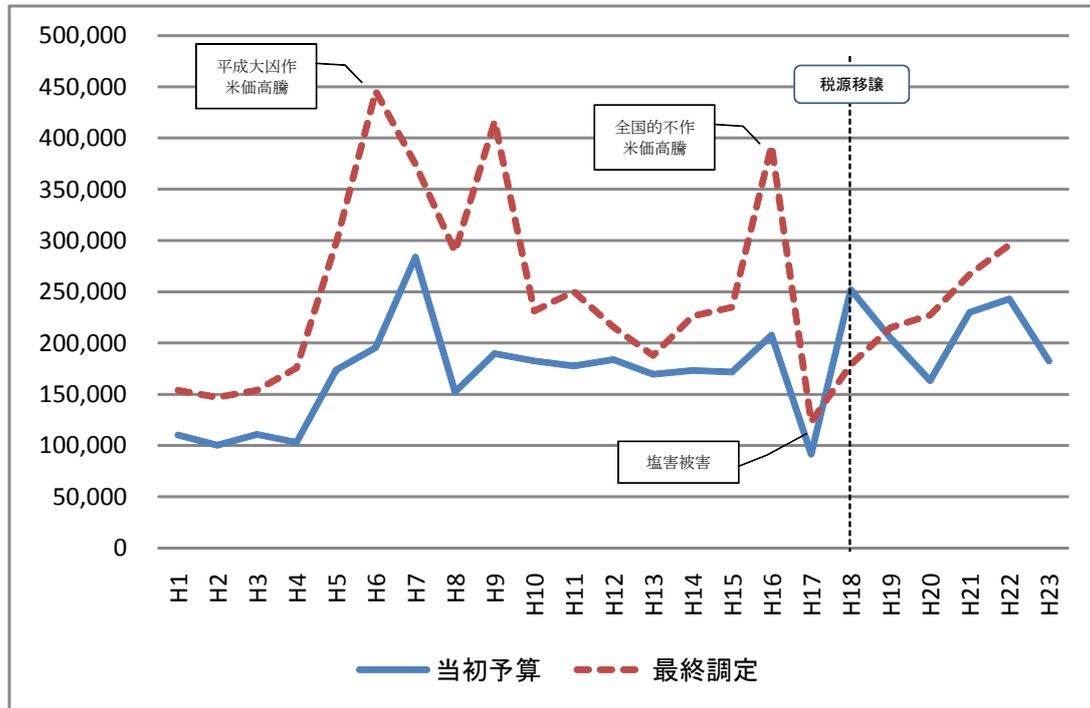
(単位:千円,%)

款 名	平成23年度		平成23年3月現計予算			
	金 額	構成比	金 額 [※]	構成比	比較増減	
					金 額	増減率
1 村民税	198,899	30.4	308,441	40.4	△109,542	△35.5
個人分	182,686	27.9	292,968	38.4	△110,282	△37.6
法人分	16,213	2.5	15,473	2.0	740	4.8
2 固定資産税	387,798	59.3	387,955	50.8	△157	0.0
3 軽自動車税	12,181	1.9	12,044	1.6	137	1.1
4 村たばこ税	13,500	2.1	13,650	1.8	△150	△1.1
5 入湯税	41,400	6.3	41,600	5.5	△200	△0.5
合 計	653,778	100.0	763,690	100.0	△109,912	△14.4

※平成23年3月補正予算(案)を含めた額です。

図5 村民税(個人)の当初予算と最終調定の比較

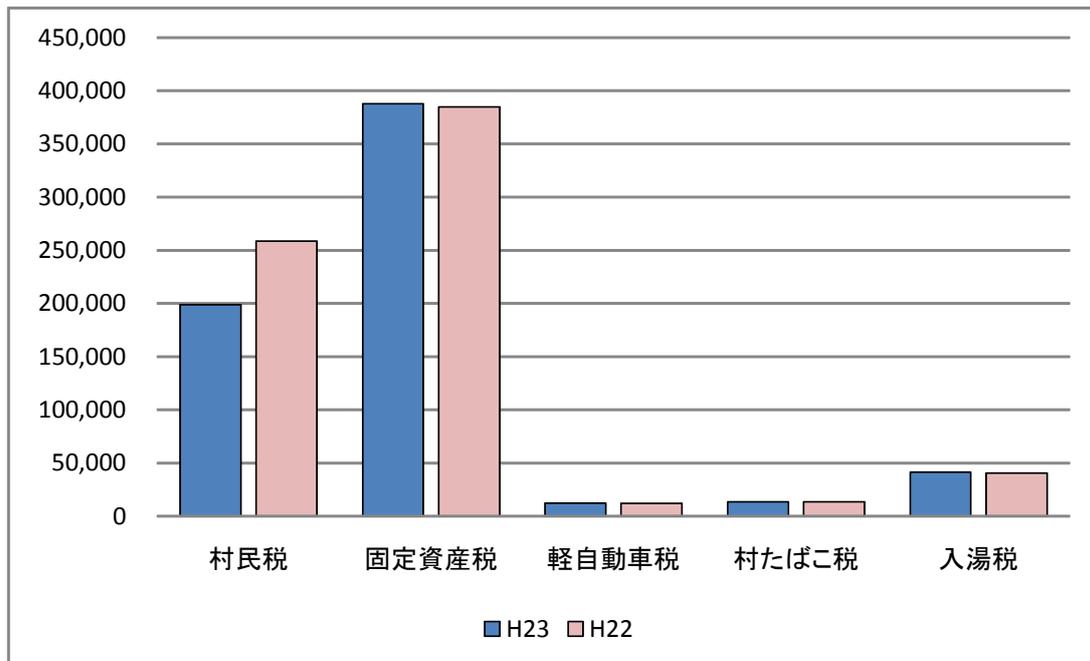
(単位:千円)



※H22の最終調定は見込み

図6 村税の前年度当初予算比較

(単位:千円)



2 歳 出

歳出の積算にあたっては、「大潟村総合村づくり計画」や前年度実績等を勘案して計上しています。

歳出額の大きいものとしては目的別に、①教育費 1,540,851 千円 (30.6%)、②農林水産業費 750,085 千円 (14.9%)、③公債費 716,442 千円 (14.2%)、④民生費 520,411 千円 (10.3%)、土木費 409,772 千円 (8.1%)となっています。

前年度との増減率が大きいものとしては、①公債費 158.6%、②教育費 80.1%、③商工費 40.1%となっています。

性質別でみると大きい順に、①普通建設事業費 1,669,819 千円 (33.2%)、②物件費 807,802 千円 (16.0%)、③補助費等 770,557 千円 (15.3%)、④公債費 716,442 千円 (14.2%)、⑤人件費 511,021 千円 (10.2%)となっています。

増減の主な理由は、小中学校改築工事の本格化、新農業戦略への取り組み、干拓博物館建設事業債の繰上償還実施などが挙げられます。

表5 歳出予算の目的別比較

(単位:千円,%)

款 名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1 議 会 費	78,318	1.6	56,542	1.6	21,776	38.5
2 総 務 費	398,386	8.0	356,019	10.1	42,367	11.9
3 民 生 費	520,411	10.5	455,891	12.9	64,520	14.2
4 衛 生 費	204,069	4.1	184,958	5.2	19,111	10.3
5 農 林 水 産 業 費	750,085	15.1	562,651	15.9	187,434	33.3
6 商 工 費	201,993	4.1	189,571	5.4	12,422	6.6
7 土 木 費	409,772	8.2	448,552	12.7	△38,780	△ 8.6
8 消 防 費	140,042	2.8	137,232	3.9	2,810	2.0
9 教 育 費	1,540,851	31.0	855,564	24.2	685,287	80.1
10 災 害 復 旧 費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
11 公 債 費	716,442	14.4	277,019	7.8	439,423	158.6
12 予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	4,970,370	100.0	3,534,000	100.0	1,436,370	40.6

図7 歳出予算の構成比

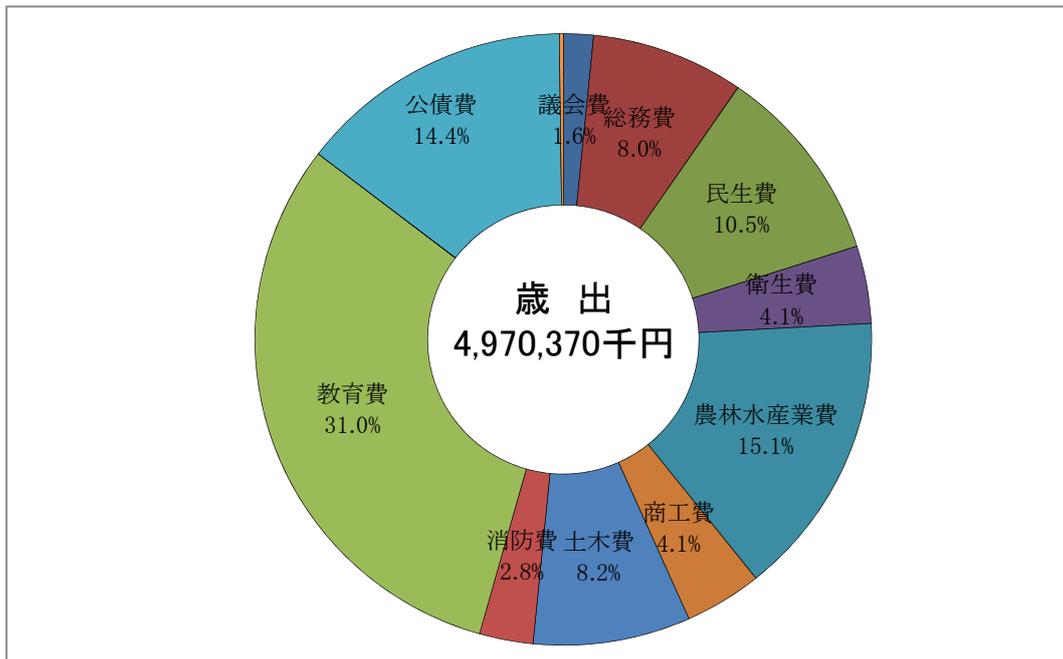


表6 歳出予算の性質別比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 義務的経費	1,388,207	27.9	905,615	25.6	482,592	53.3
人件費	511,021	10.3	501,290	14.2	9,731	1.9
扶助費	160,744	3.2	127,306	3.6	33,438	26.3
公債費	716,442	14.4	277,019	7.8	439,423	158.6
2 その他の行政費	1,975,973	39.8	1,656,444	46.9	319,529	19.3
物件費	807,802	16.3	682,015	19.3	125,787	18.4
(うち臨時職員賃金等)	(134,466)	(2.7)	(110,237)	(3.1)	(24,229)	(22.0)
維持補修費	185,059	3.7	136,442	3.9	48,617	35.6
補助費等	770,557	15.5	638,906	18.1	131,651	20.6
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	---
積立金	4,000	0.1	4,000	0.1	0	0.0
繰出金	193,555	3.9	180,081	5.1	13,474	7.5
貸付金	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
その他	10,000	0.2	10,000	0.3	0	0.0
3 普通建設事業費	1,606,189	32.3	971,940	27.5	634,249	65.3
単独事業費	137,097	2.8	237,912	6.7	#####	△ 42.4
補助事業費	1,454,392	29.3	734,028	20.8	720,364	98.1
県営事業負担金	14,700	0.3	0	0.0	14,700	---
4 災害復旧事業費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
歳出合計	4,970,370	100.0	3,534,000	100.0	1,436,370	40.6

3 主要な施策

総務企画課

予算総額

(1)職員研修事業(1,783 千円) 新規含

職員の職務遂行能力及び政策形成能力の向上を図るため、研修を実施するとともに、自己啓発及び自己研修を支援し、能力開発並びに資質向上に努めます。

他にも、職員合同研修会を開催することにより、行政の現状と課題を把握し共通認識の下に円滑な施策の推進に努めます。

また、23年度は新規採用職員に対し、村の主幹産業を体験させるため農業研修を実施します。

(2)大潟村紹介映像制作事業(617 千円)

平成22年度に完成した大潟村紹介映像について、そのダイジェスト版の外国語版を作成します。平成23年度は韓国語版を作成します。

(3)歴史写真デジタルアーカイブ事業(1,050 千円)

干拓博物館に干拓工事及び新農村建設事業に係る写真が収蔵されており、村史編纂と関連する部分も多いので、年次計画をたて、保存処理・デジタル化を行います。平成23年度は、主に昭和29年から43年までのネガアルバムを中心にデジタル化を行います。

(4)大潟村情報発信者入村事業(1,693 千円)

村の活性化に資する情報発信者の入村と、活動の促進を目的とします。

(5)定住化促進事業(8,896 千円) 新規含

村内定住化を促進するため、様々な施策を実施します。

- ①東2丁目村有地分譲(290 千円)
- ②市民農園利用促進交付金(80 千円)
- ③多世代同居住宅増改築支援(2,500 千円)
- ④定住促進交付金(5,990 千円)

⑤西2丁目宅地分譲(36 千円)

(6)大潟村ふるさと会支援事業(1,452 千円)

大潟村ふるさと会の活動を支援し、村との親睦交流を深め活力ある村づくりに資することを目的とします。

(7)チャレンジマインド海外研修事業(2,019 千円) 新規

村の青年を海外へ派遣し、農業等の研修を行うことで、村農業の発展へ結びつけるとともに、移住地のまちづくりの視察や農家との交流を行い異文化にふれることにより、国際的視野を持つ人材の育成及び国際交流の推進に寄与します。

また、同時に村職員を派遣して、行政実情等の調査研究と異文化の体験を通じ、国際的視野を養い行政能力の向上を図ることにより、村行政の進展へ資することを目的とします。

(8)大潟村応援大使事業(643 千円) 新規

村に関心と愛着を持つ方を村の大使として任命し、村の情報発信やPR活動、村づくりのアイデア提言活動などを通じて“ふるさと大潟村”を村の外から応援していただきます。

(9)再生可能エネルギー推進事業(650 千円) 新規

平成22年度に終了する「緑の分権改革」推進委員会の後を受け、引き続き、再生可能エネルギーの村内への導入、普及に対する取り組みについて村内委員を中心に検討・推進を図ります。

(10)群山市訪問事業(466 千円) 新規

韓国群山市・インピ中学校生徒と大潟中学校生徒の交流開始から10周年を迎えることを記念し、群山市長及び教育長を表敬訪問し、またインピ中学校生徒との交流を行い、今後の韓国との交流の在り方を模索します。

(11)コミュニティバス運行事業(12,514 千円) 新規

コミュニティバス(マイタウン・バス)を運行し、村民の利便性を確保します。

(12) 自治会活動推進事業(4,431 千円)

自治会活動の積極的な推進及び生活環境の整備と、自治意識の醸成を図ります。また、コミュニティ広場等の維持管理に努めます。

(13) 西5丁目有効活用推進事業(767 千円)

住民と行政の協働による村づくりの一環として西5丁目地区の有効活用による実践活動を通じ、協働意識の醸成を図ります。また、併せて地域の活性化を図ります。

(14) 誘致企業奨励金交付事業(1,360 千円) 新規

誘致企業に対し大潟村企業誘致促進条例第4条に基づく奨励金を交付し、経営の安定に向けた支援を行います。

(15) 住宅用太陽光発電システム導入事業(750 千円)

自然エネルギーの生産供給基地を目指し、個人が行う自然エネルギーの導入を支援促進するとともに普及啓発を図ります。

(16) 太陽熱温水装置導入事業(500 千円) 新規

自然エネルギーの生産供給基地を目指し、個人が行う自然エネルギーの導入を支援促進するとともに普及啓発を図ります。

(17) 基幹システム改修委託事業(16,485 千円)

住民基本台帳法の改正により、平成24年度から外国人住民についても住民基本台帳法の適用対象となったことから、現在使用している業務システム、戸籍システムなどについて、法改正に対応したシステム改修を行います。

(18) 家屋評価システム更新委託事業(3,700 千円) 新規

現在使用している家屋評価システムについて、パソコンの保守が終了していることから、新たに家屋評価システムを導入し、現在のシステムからデータを移行します。

(19) 選挙システム導入委託事業(2,268 千円)

現在使用している選挙システムについて、ソフトウェアを更新し、選挙人名簿作成等の選挙事務の効率化を図ります。

(20)大潟村史編纂事業(7,027 千円)

平成26年の村創立50周年に大潟村史を刊行するため、村史編纂の資料収集、写真収集、執筆、編集作業を行います。

(21)干拓博物館整備事業債繰上償還(416,800 千円) 新規

繰上償還により財政の健全化を図り、将来の公債費負担を抑えます。

税務会計課

(1)旧庁舎給水管更新事業(8,386 千円) 新規

老朽化した旧庁舎の給水管を更新し、漏水の防止と安全な飲料水の供給を図ります。

(2)会議室映像音響設備更新事業(2,417 千円) 新規

パソコンを使ったプレゼンテーションやブルーレイなどの視聴を容易に行うことができるよう、第一会議室の映像音響機器を更新します。

(3)青色申告会補助金(システム更新事業費分)(1,120 千円) 新規

大潟村青色申告会が、専従者給与の源泉所得税の事務相談にかかる電算システムを更新することから、事業費の1/3を補助します。

(1) 住民基本台帳実態調査(237 千円)

実態調査を行い、住民基本台帳の正確性確保を図ります。

(2) 大潟村社会福祉協議会補助金(23,179 千円)

社会福祉協議会の体制を強化し、社会福祉の推進を図ります。

(3) ひとり親児童入学祝い金事業(50 千円)

入学祝金を支給することにより、ひとり親家庭の経済的負担の軽減と児童の健全な育成を図ります。

(4) 地域福祉計画策定事業(394 千円)

村の地域福祉の基本となる「大潟村地域福祉計画」(仮称)を策定し、様々な福祉計画を統括した、住民と行政が共に取り組む体制を整備することを目的とします。

(5) 在宅介護ベッド購入費補助金(400 千円)

要介護高齢者の自立支援と在宅介護者の様々な負担軽減を図るため、在宅介護ベッドの購入費用を補助します。

(6) 高齢者バス利用支援事業(1,163 千円) 新規

コミュニティバスの運行に伴い、高齢者の村内無料利用に対する支援及び利用者の冬期間の安全を確保することを目的とします。

(7) 高齢者等福祉入浴扶助事業(7,658 千円)

高齢者等が明るく健康な生活を営み活力を維持向上させて、健康増進を図ることを目的とし、ポルダ一潟の湯の無料優待券を配付します。

(8) 敬老金婚祝い事業(3,305 千円)

敬老会・金婚式の開催、賀寿の方への祝い金支給により、高齢者福祉の充実を図ります。

(9) 地域高齢者いきがい活動事業(園芸療法) (535 千円)

村内に住んでいる高齢者が農業経験を活かし、園芸療法活動のスタッフとして活動することで、生涯現役として過ごすライフスタイルを作り出すことを目指します。

(10) 指定管理者制度に係る指定管理料(ケアハウス) (20,678 千円)

高齢者の自立した生活を支援するため、指定管理者を指定して効果的かつ効率的な施設の管理運営を行います。

(11) 高齢者福祉リーダー養成事業(4,000 千円)

多様化する高齢者福祉のニーズに対応し、介護予防事業や高齢者の見守り事業などの福祉関連事業の拡大と新規事業への参画を図るため、福祉関係の資格を有する地域の人材を活用しリードしていく指導者の人材を養成し、地域福祉の向上と充実を図ります。

(12) ひだまり苑10周年記念事業(502 千円) 新規

ひだまり苑の開設10周年記念式典を開催し、利用者と関係者及び村民がともに福祉の拠点の存続を祝い、地域に密着した福祉施設としてのさらなる向上を目指します。

(13) 指定管理者制度に係る指定管理料(ふれあい健康館) (14,927 千円)

高齢者の生きがいづくりや交流、活動の拠点としての施設の指定管理者を指定し、効果的かつ効率的な管理運営を行います。

(14) じん臓機能障がい者等通院交通費助成事業(1,080 千円)

じん臓又はその他の身体的障がいに基づく症状の治療のためタクシーを利用し医療機関へ継続的に通院する場合に交通費を助成し、福祉の増進を図ります。

(15) 指定管理者制度に係る指定管理料(村民センター) (9,593 千円) 新規

村民の福祉、教育、コミュニティ活動や冠婚葬祭利用施設としての村民センターの管理運営について、指定管理者を指定することで、効率的かつ効果的な管理運営を行います。

(16) 福祉医療費支給事業(22,274 千円)

福祉の増進と生活の安定を図り、経済的な面で安心していつでも診療が受けられるよ

う、医療費の助成を行います。

また、乳幼児については年度内に医療機関窓口での無料化を実施します。

(17)チャイルドシート購入費補助金(300 千円)

チャイルドシート購入費の一部を助成することにより、子供を持つ家庭の負担を軽減し、少子化対策及び子育てしやすい環境づくりの整備を図ります。

(18)特定健診事業(一般会計:2,996 千円、国保会計:7,741 千円)

糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少のため内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の概念を導入した健診を行い、健診により把握された対象者に生活習慣の改善に主眼をおいた保健指導を行うことにより村民の健康増進を目指します。

国保特別会計の事業と併せて行います。

(19)インフルエンザ予防接種事業(2,505 千円)

インフルエンザ予防接種を実施することで、インフルエンザへの罹患予防と罹患することにより起こる肺炎等の合併症を予防し、高齢者、幼小中学生、障がい者の健康を守ることを目指します。

(20)妊婦健康診査事業(3,203 千円)

妊婦の安全安心な出産の確保を目指します。妊婦が健診費用の心配をせず、必要な回数(14回程度)が受けられるように、妊婦健康診査の公費負担の拡充を図ります。

(21)人間ドック・脳ドック助成事業(2,000 千円)

疾患の早期発見・早期治療を図り村民の健康増進を目指し、人間ドック・脳ドックの受診費用を補助します。

(22)がん検診事業(9,825 千円)

がん検診を行うことにより、がんを早期発見・早期治療し、村民の健康の維持増進を図ります。

(23)心の健康づくり・自殺予防対策事業(989 千円)

心の健康づくり事業を通じ、命の大切さを再認識し、自殺者の減少を目指します。

(24) 女性特有のがん検診推進事業(828 千円)

女性特有のがん検診は受診率が低いことから、事業を実施することで受診率の向上を目指します。

(25) 子宮頸がん等予防接種事業(6,021 千円) 新規

病気の発症を防ぐために子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を実施し、接種費用を全額助成します。

(26) 環境自治体推進事業(1,047 千円)

村が加入している「環境自治体会議」付属の環境政策研究所が提言する環境自治体スタンダード(LAS-E)規格に沿った大潟村環境マネジメントシステムの運用・取り組みを引き続き実施します。また、取り組み成果を住民に周知し、環境に配慮した行政施策に反映していきます。

(27) 八郎湖水質浄化対策事業(5,522 千円)

八郎湖水質改善大潟村会議の提言に基づき、水質浄化の実証などに取り組みます。また、余水削減対策などにも引き続き取り組んでいきます。

(28) 水田圃場区等浄化試験事業(5,584 千円) 新規

八郎湖水質改善対策の一環として、試験資材投入による水質浄化効果と水稻生育効果を評価します。

(29) 環境基本条例(仮称)の制定(399 千円) 新規

大潟村が持つ豊かな自然環境と共生した潤いと安らぎのまちづくりの創造に向け、その基本理念となる環境基本条例(仮称)の制定を行います。

(30) ごみ処分場管理棟補改修事業(2,108 千円)

老朽化が著しいごみ処分場管理棟・保管庫の支柱補強、附属施設のトラックヤード及びストックヤード鉄骨支柱の塗装を適期に行い施設の維持延命に努めます。

(31) ごみ収集運搬業務委託事業(12,226 千円)

家庭系ごみの収集運搬、資源ごみの分別作業を委託することで、一般廃棄物処理を円滑に実施します。

(32) 八郎湖周辺清掃事務組合負担金(28,230 千円)

周辺1市3町1村で構成している広域ごみ処理施設でごみの共同処理を行います。

(33) 災害用備蓄用品等購入事業(284 千円)

自然災害等により被災した住民に対応するため、被災救護所において応急的に使用する備蓄品の確保を図り、非常事態に応じた体制整備を図ります。

(34) 住宅用火災警報器普及推進事業(2,610 千円) 新規

平成23年6月1日より住宅用火災警報器の設置が義務化されることを受け、購入代金を助成することにより、普及促進を図り火災発生時の逃げ遅れによる被害防止に努めます。

農業委員会

(1) 異業種交流会 (544 千円)

村でも少子・高齢化が進んでいる現状をふまえて、青年会、農近ゼミ、JA 青年部、CE 青年部、若妻会を母体とした異業種間の交流を軸に、若者の交流や未婚者の出会いの場を創出して行きます。

産業建設課

(1) 新農業戦略推進事業 (1,231 千円)

農家所得の向上を目指す「大潟村農業チャレンジプラン」の計画的な実施と推進により、たくましい大潟村農業を構築します。

(2) 環境創造型農業推進事業 (2,720 千円)

八郎湖の水質改善につながる「環境創造型農業」を大潟村全域で進めます。

(3) 排水対策事業 (23,950 千円)

生産性の高い土地利用型複合経営の確立を図るため、生産基盤の整備を促進し、かつ生産調整推進対策の円滑な推進を図ります。

(4) 高度畑作等生産対策事業(麦防除対策事業) (1,532 千円)

品質低下の主要因となる赤カビ・赤さび病対策としてラジコンヘリによる一斉防除事業に助成し、麦類の品質向上と農家負担の軽減を図ることにより麦作振興を図ります。

(5) 農山漁村活性化プロジェクト支援事業 (86,000 千円)

新規需要米の生産・流通・加工・販売の各関係者による連携を前提に、新規需要米の生産拡大や必要な機械や施設の整備を支援します。

(6) 農業後継者育成活動推進事業 (480 千円)

農業近代化ゼミナール活動を通じ、農業後継者の自主的活動の助長を図ります。

(7)食と農のまちづくり事業(150 千円)

「農業」と「食」の関わりを推進し、農業振興と地域活性化を図ります。

(8)地場産野菜販売促進事業(12,155 千円)

地場産野菜の生産出荷体制の確立、観光農園の設置、メニュー開発など販売促進を推進し、農家所得の向上と地域活性化を図ります。

(9)大豆300A技術検証実証事業(3,000 千円)

大豆の単収向上や作柄の安定化に資する革新技術である大豆300A技術を実証する生産者に対して、必要な資材、機材等に要する経費を支援します。

(10)都市と農村交流事業(2,358 千円)

農業体験、自然観察等を中心とした都市と農村の交流を進めるとともに、農家民宿等の起業を促進していきます。また、国の「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入地域づくりの整備をし、地域の活性化及び農産物等の販路拡大を目的とすると同時に、子どもを都市に送り出し都市と農村交流事業の充実も図ります。

(11)おおがた野菜産地形成推進事業(13,300 千円) 新規

米以外の農産物の生産拡大により、野菜等の産地形成を目指し、販売額を増加させるとともに、複合部門の拡大により足腰の強い経営体の育成を図ります。

(12)チャレンジプラン推進事業(24,500 千円) 新規

高品質な農産物の生産拡大による産地形成を促進し、販売額を増加させるとともに、複合部門の拡大により足腰の強い経営体の育成を図ります。

(13)環境保全型農業直接支援対策事業(37,480 千円) 新規

地球温暖化防止や環境保全・生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して直接支援します。

(14)平成22年秋田県営農維持緊急支援資金利子補給事業(16,168 千円)

平成22年の異常気象により、水稻を主体とした農作物が大きく減収した農業者等に対する資金に対し、県と村で利子補給を行い農業経営の安定を図ります。

(15)平成22年大瀧村営農維持緊急支援資金利子補給事業(1,407千円)

平成22年の異常気象により、水稻を主体とした農作物が大きく減収した農業者等に対する資金に対し、村が利子補給を行い農業経営の安定を図ります。

(16)未来農業のフロンティア育成研修事業(2,700千円) 新規

新規就農に必要な技術を身につけようとする者、又は新たな部門開始に必要な技術を身につけようとする既就農者に対し、村と県が連携の上、農業試験場等で研修を行い、担い手を確保・育成します。

(17)米粉の郷づくり推進事業(2,300千円) 新規

米粉の活用を大きなきっかけとして、米の多様な利活用を進め、米粉の郷づくりへ向けて米粉食文化及び米粉需要の創造につながる情報発信を推進します。

(18)戦略作物生産拡大事業(42,584千円) 新規

田畑複合経営を推進し、水稻の低コスト化と農家経営の安定化を図るため、戦略作物である麦・大豆の生産数量に対して助成します。

(19)戦略作物生産拡大緊急基盤整備事業(41,400千円) 新規

農地の生産力を拡大するため、水田の排水強化対策を集中的に実施し、地域特性を活かした戦略作物の生産拡大を図ります。

(20)土地改良施設維持管理事業費補助金(10,000千円)

土地改良施設の適正な維持管理の推進を図ります。

(21)管理体制整備型支援事業費補助金(10,775千円)

土地改良区が管理する農業用水利施設の維持管理のうち、多面的機能の発揮及び管理の高度化に対応した土地改良区施設の適正な整備を図ります。

(多面的機能:農業用施設がもつ洪水調整機能や水辺環境の提供など、農業生産以外の機能)

(22)農地・水・環境保全向上対策共同活動支援事業負担金(30,861千円)

農業者と地域住民や関係団体等が取り組む、農村の自然や景観などを守る「共同活

動」に対し支援を行い、将来にわたって農業・農村の基盤を支えます。

(23) 農地・水・環境保全向上対策営農活動支援事業負担金(117,662 千円)

化学合成農薬・化学肥料を、県の慣行栽培基準から5割以上低減した栽培などの環境負荷を低減する環境創造型農業を推進し、八郎湖の水質改善に努めます。

(24) 政策転換対応型農業支援事業(3,700 千円) 新規

国の助成水準が大幅に低下する「大豆」や「そば」、「地力増進作物」、「野菜・花き等の地域特認作物」に対して助成し、地域の特色・独自性を活かした産地づくり活動を推進します。

(25) 防災林除伐等事業(52,595 千円)

危険木等の除伐や高くなりすぎた防災林の中切り等を実施することで、防災林の適切な維持管理と村内の環境整備を図ります。

(26) 防災林地内除草事業(31,248 千円)

防災林の適切な維持管理に努め、病害虫の発生を防止するとともに、村内の環境整備を図ります。

(27) 並木修景木再生事業(41,198 千円)

大瀧村幹線道路沿いにある桜・銀杏並木は、樹齢が25年経過し樹勢が弱まってきたものがみられることから、並木の土壌等の現況を把握し、3年計画で並木修景木の再生事業を行います。(3年目)

(28) 景観作物栽培推進事業(3,382 千円)

景観作物の栽培及び菜の花の搾油をとおし、誘客及び特産品の推進と観光振興を推進します。

(29) 桜と菜の花まつり推進事業(2,150 千円)

桜と菜の花まつりを関係機関団体と連携し、円滑な運営を図り観光振興に寄与します。

(30) 地域ブランド開発等事業(38,656 千円)

村の農産物の付加価値を高める地域ブランド開発及び子ども農業体験やグリーン・ツーリズムを活用し、交流人口拡大を目指します(3年目)。

(31) ふるさと交流施設増改築事業(56,385 千円) 新規

集客力、競争力を高め、経営力の向上を図ると同時に、村の活性化をより一層推進するため、多様なニーズに対応できる多目的交流館(仮称)を整備します。

(32) 温泉保養センター指定管理(41,251 千円)

温泉保養センターの指定管理を通じて施設の適正な運営及び維持管理を図ることを目的として行います。

(33) 南の池公園トイレ改修事業(2,310 千円) 新規

南の池公園内のトイレの一部を改修して身障者向けトイレ等を増設します。

(34) 村道(砂利道)保守管理事業(33,859 千円)

生産基盤である砂利道(延長約150km)の適正管理に努め、村道の安全性を確保します。

(35) 冬期除雪事業(13,742 千円)

集落地内の歩道や車道及び公共駐車場の除雪作業や消雪剤散布作業等を実施し、冬道通行の安全確保と安心できる居住環境の確保に努めます。

(36) 大瀧環状線舗装補修事業(234,543 千円)

大瀧環状線は総合中心地から各地区を巡回的に結ぶ基幹道路であり、大瀧村の地域経済の発展や営農活動を行う上で大きな役割を担っています。干拓地という特殊な条件下による軟弱地盤の影響で路盤の強度低下や地盤沈下によりうねりが見られるため補助事業(補助60%)を活用し、大瀧環状線(延長31kmのうち16km)を補修します。年4km×4年間(25年度まで)を予定しています。

(37) 北1丁目中央線道路側溝改良事業(17,430 千円) 新規

ルーラルから温泉にかけての道路側溝は、雨量が多い際には道路が冠水することがあることから、道路側溝を改良し、ホテル・温泉利用者の利便性を確保するものです。

(38) 村道(砂利道) 取付道路設置事業(9,687 千円) 新規

砂利道から舗装道への接続部分(交差点)について、舗装道路の保護及びトラック等の乗り入れの際、砂利に車輪を取られ発進が遅れることにより起こる交通事故を未然に防止するため、取付道路を設置するものです。

(39) 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業(15,170 千円) 新規

村内の橋りょうは設置後40数年を経過し、老朽化が進んでいます。将来に備え、橋りょうの長寿命化及び橋りょうの修繕・架け替えに係る費用を抑えることが重要です。事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えに備えるため、補助事業を活用し、橋りょうの長寿命化修繕計画を策定します。

(1)子育て支援センター事業(168 千円)

子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭に対する育児不安等についての相談指導、保育サービスの情報提供、子育てサークル等の育成・支援など、子育てに関する一元的な施策の実施により、子育て家庭に対する育児支援の充実を図ります。

(2)季節保育事業(630 千円)

春の農繁期に、現在、実施している一時保育事業を拡大した季節保育事業を実施します。

(3)外国語指導助手招致事業(4,169 千円)

JET プログラムを活用した ALT(外国語指導助手)を採用し、中学校における英語教育の充実を図ります。また、小学校での英語活動を支援し、平成23年度からの外国語授業を受け持ちます。地域の英語力向上と国際交流推進の役割を担います。

(4)英語活動支援事業(3,533 千円)

新学習指導要領で新設された「外国語活動」の時間等に民間会社からの外国人講師を招致して英語活動を実施します。外国人講師と村 ALT が共に指導にあたることで、児童が英語を自然に習得できる環境を整備します。ゲーム等が盛り込まれたプログラムを第1学年から段階を踏んで受けることにより、英語や外国人に抵抗感なく接することができるようになります。

(5)子ども海外研修事業(1,750 千円)

民間主導・行政支援を原則とし、大潟村の子どもに海外研修の機会を与え、国際感覚の涵養と国際理解の促進を図ります。

参加者や保護者からの満足度も高く、交流は非常に効果があり、相手校からもぜひ継続をという声があります。実行委員会では、これまでの実績を考慮し、今後も韓国との交流を継続しながら、よりよい交流を推進します。

(6)インターネット学校菜園(3,340 千円)

幼稚園、小中学校の総合的な学習の場として体験学習や食育について学ぶと共に参

加校との相互交流を図ります。

また、23年度からは場所を西5丁目に移し、博物館の利用や農業実践大学との連携も推進します。

(7) 保幼小中連携教育推進計画策定事業(3,934 千円)

大潟村の幼児から義務教育終了までの子どもたちに一貫した教育計画を推進するために保幼小中連携教育推進計画(仮称)を策定します。子どもにつけたい資質や能力などを、発達段階に合わせた連続的な教育として捉え、共通認識を持った教育計画として企画推進します。

(8) 小・中学校改築事業(1,190,123 千円)

児童生徒が一日の大半を過ごす小・中学校校舎が老朽化していることから改築を行い、児童生徒の安全確保を図るとともに、学習や豊かな人間性を育むための教育環境を整備します。

また、災害時には地域の人々の緊急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保を図ります。

【事業内訳】

- | | | |
|------------|--------------|---------------------|
| ①小・中学校改築工事 | 1,140,000 千円 | (総事業費：2,330,000 千円) |
| ②改築工事設計委託料 | 6,430 千円 | (総委託費：73,500 千円) |
| ③第1期解体工事 | 32,302 千円 | (総事業費：165,000 千円) |
| ④備品購入 | 10,000 千円 | |
| ⑤その他事業 | 1,061 千円 | |

(9) 幼稚園及び小・中学校における補助講師配置事業(8,400 千円)

幼稚園、小・中学校の普通学級において特別な支援を必要とする園児、児童生徒に対し講師を配置し、個々の実態や保護者の願いに応じた支援をします。

幼稚園1名、小学校3名、中学校2名の補助講師を配置します。

(10) 小学校冬季スポーツ体験学習事業(360 千円)

県立スケート場において、小学生の子ども達に冬季スポーツを体験させ、体力向上とスポーツ(スケート)の楽しさを体験させます。

(11) 中学校野球場維持補修事業(990 千円)

中学校野球場の維持補修を行い、部活動等で使用する生徒の安全確保と施設整備の充実を図ります。

(12) 幼稚園施設整備事業(6,239 千円)

園児が安全かつ快適に生活できるように、幼稚園施設の補修及び整備を行います。

(13) 冬季ふるさと祭り(378 千円)

伝承遊びや野外活動等の場を提供し、各種団体との連携や異年齢層の交流の機会の充実を図ります。

(14) 大潟っ子冬季チャレンジ体験事業(284 千円)

子どもたちに、仲間と一緒に考え、汗して頑張る多様な体験活動の場を提供すると共に、挑戦的な活動をとおして自然の魅力や友だちの良さ、協力の大切さを実感させ、心身ともにたくましい大潟っ子の育成を目指します。

(15) 青年会館整備事業(1,583 千円) 新規

施設の補修及び旧施設の解体を行い、利便性の向上を図ります。

(16) 博物館企画展示・教育普及事業(1,182 千円)

村民及び村内各組織・団体の協力のもと、各種企画展示を実施し、干拓地大潟村の歴史・農業・自然・芸術文化を紹介します。併せて、主に親子を対象とした参加・体験型の各種教室を村民と協働で実施し、身近な科学や自然環境・農業についての啓発を図ります。

(17) 男鹿半島・大潟ジオパーク推進事業(1,155 千円) 新規

日本ジオパークネットワーク登録を目指して設立された男鹿市と大潟村による推進協議会の活動費を男鹿市と大潟村がそれぞれ7:3の割合で負担し、平成23年度に「男鹿半島・大潟ジオパーク」の登録申請を行うとともに、同ジオパークの推進に向け普及事業を実施します。

(18) 大潟村の生物総合調査事業(9,905 千円) 新規

大潟村の生物に関する生息調査は、干拓後はほとんど行われておらず、極めて断片

的な報告のみとなっています。そこで、大潟村の生物が真に豊かな自然環境を呈するものであるかどうかの「総合的な生物調査」を実施し、農業生態系での食物連鎖などによる生物の相互作用に関する基礎データの積み上げなどを行います。

(19) 市町村交流レガッタ派遣事業(989 千円)

市町村交流レガッタに出場する選手の負担軽減を図り、生涯スポーツとしてのボート事業を推進します。

また、ボート場所在地市町村サミットに参加し大潟村をボート場所在地として全国にPRします。

(20) 総合型地域スポーツクラブリーダー育成事業(3,685 千円) 新規

地域住民による自主的・主体的な地域スポーツクラブの育成促進と、活動の支援を強化するためスポーツクラブリーダーを育成します。

(21) 各種スポーツ施設の維持管理(委託事業)(7,694 千円)

生涯スポーツの振興拠点としてのスポーツ施設の管理体制のあり方を考慮しつつ、有効かつ効率的な運営に努めます。

(22) 各種スポーツ施設の維持管理(補修事業)(3,113 千円)

生涯スポーツの振興拠点としてのスポーツ施設の良い管理に努めるため、施設の維持補修を適期に実施することにより有効かつ効率的な管理運営をします。

(23) 多目的グラウンド天然芝化新設事業(41,197 千円) 新規

多目的グラウンドを全面芝生化することにより、スポーツ施設として利用者の要望に応えながら、有効かつ効率的な管理をします。

Ⅲ 特別会計

1 水道事業

予算総額は、146,445 千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で 4,472 千円、増減率で 3.1%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(147,393 千円)と比較すると金額で△948 千円、増減率で 0.6%の減となっています。

【主な施策】

(1) 浄水場ろ過池更正事業(10,424 千円)

今後も良質な水道水の確保を図るため、砂の入れ替えを行なう更生工事を実施します。

(2) 量水器(水道メーター)取替事業(6,997 千円)

正確な水道使用量の把握と使用料の算定を行うため、水道メーターの定期的な交換を行います。

表7 水道事業歳入予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 使用料及び手数料	105,658	72.2	106,332	74.9	△674	△ 0.6
2 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3 繰入金	40,784	27.9	35,638	25.1	5,146	14.4
4 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 諸収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
歳入合計	146,445	100.0	141,973	100.0	4,472	3.1

表8 水道事業歳出予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 水道費	51,373	35.1	46,901	33.0	4,472	9.5
2 公債費	94,072	64.2	94,072	66.3	0	0.0
3 予備費	1,000	0.7	1,000	0.7	0	0.0
歳出合計	146,445	100.0	141,973	100.0	4,472	3.1

図8 水道歳入予算の構成比

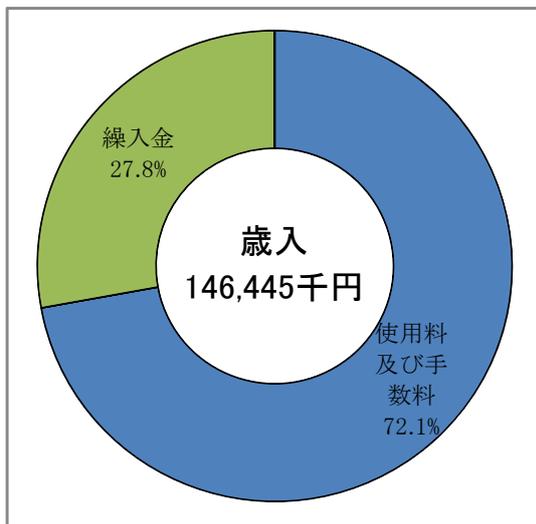


図9 水道歳出予算の構成比

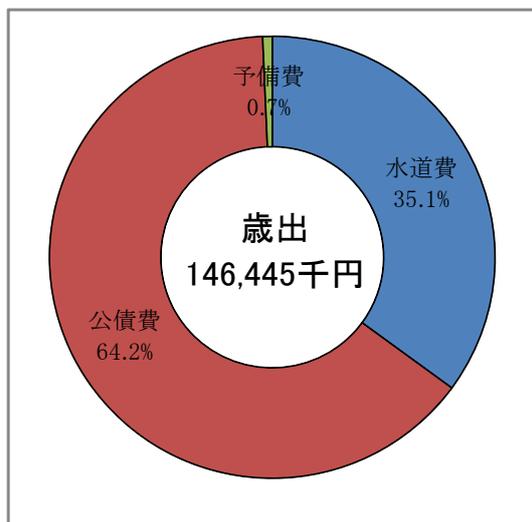
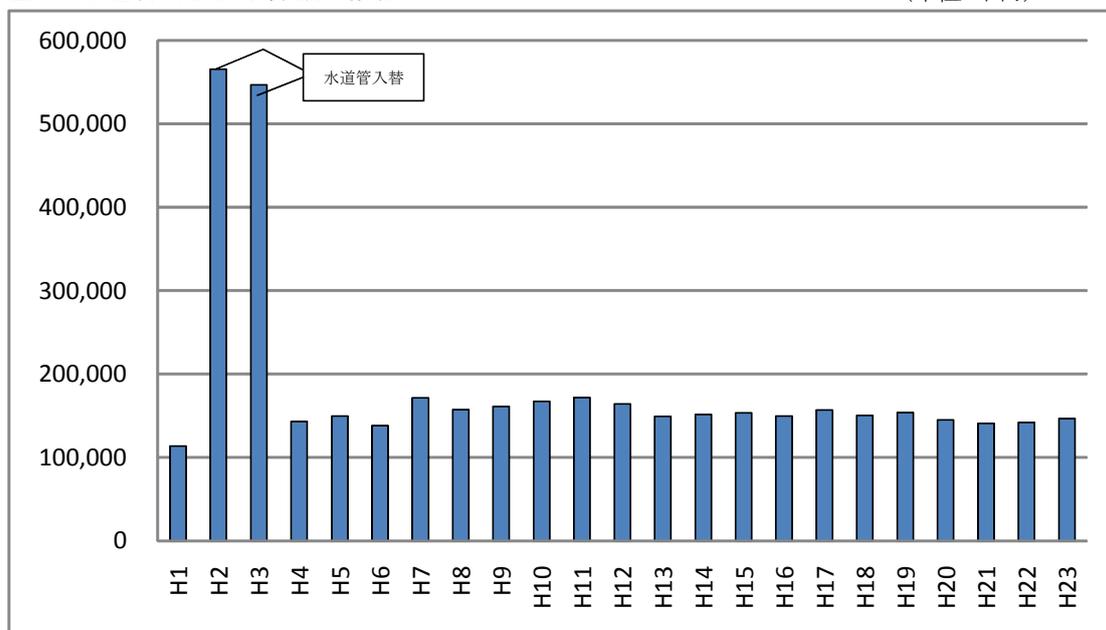


図10 水道特別会計予算額の推移

(単位:千円)



2 診療所

予算総額は、66,861 千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で 2,073 千円、増減率で 3.2%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(68,897 千円)と比較すると金額で△2,036 千円、増減率で 3.0%の減となっています。

【主な施策】

(1) 診療所の運営(20,090 千円)

村民の身近な医療機関として、地域医療の充実に努めます。

(2) 診療所補改修整備事業(1,100 千円)

病室前トイレを改修することにより、点滴・その他処置等で病室を利用する患者が、安心・安全・快適な治療を受けることができるようにします。

表9 診療所事業歳入予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 診療収入	39,516	59.1	36,308	56.0	3,208	8.8
2 使用料及び手数料	229	0.3	241	0.4	△12	△ 5.0
3 繰入金	27,113	40.6	28,236	43.6	△1,123	△ 4.0
4 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 諸収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
歳入合計	66,861	100.0	64,788	100.0	2,073	3.2

表10 診療所歳出予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 総務費	45,771	68.5	46,167	71.3	△396	△ 0.9
2 医療費	20,090	30.1	17,621	27.2	2,469	14.0
3 予備費	1,000	1.5	1,000	1.5	0	0.0
歳出合計	66,861	100.0	64,788	100.0	2,073	3.2

図11 診療所歳入予算の構成比

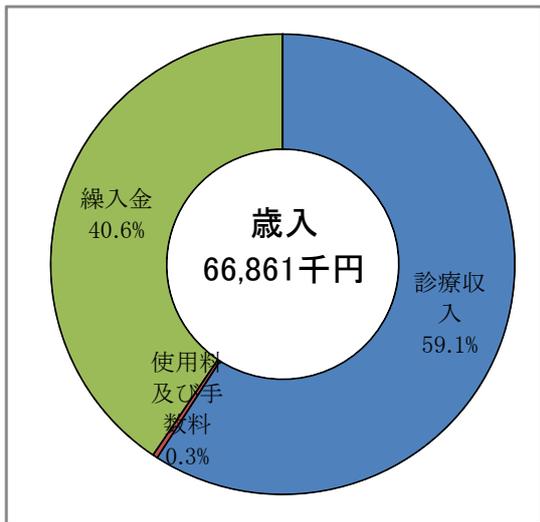


図12 診療所歳出予算の構成比

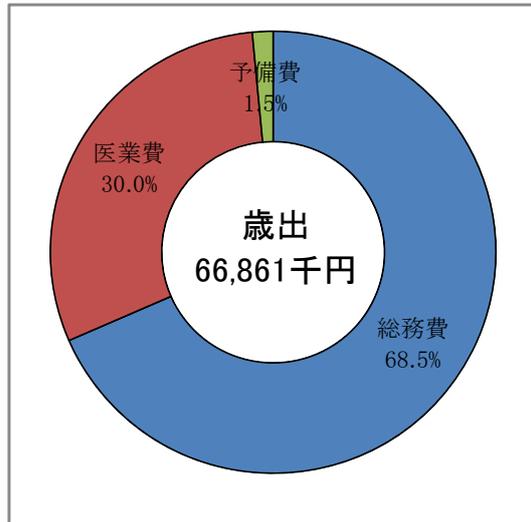
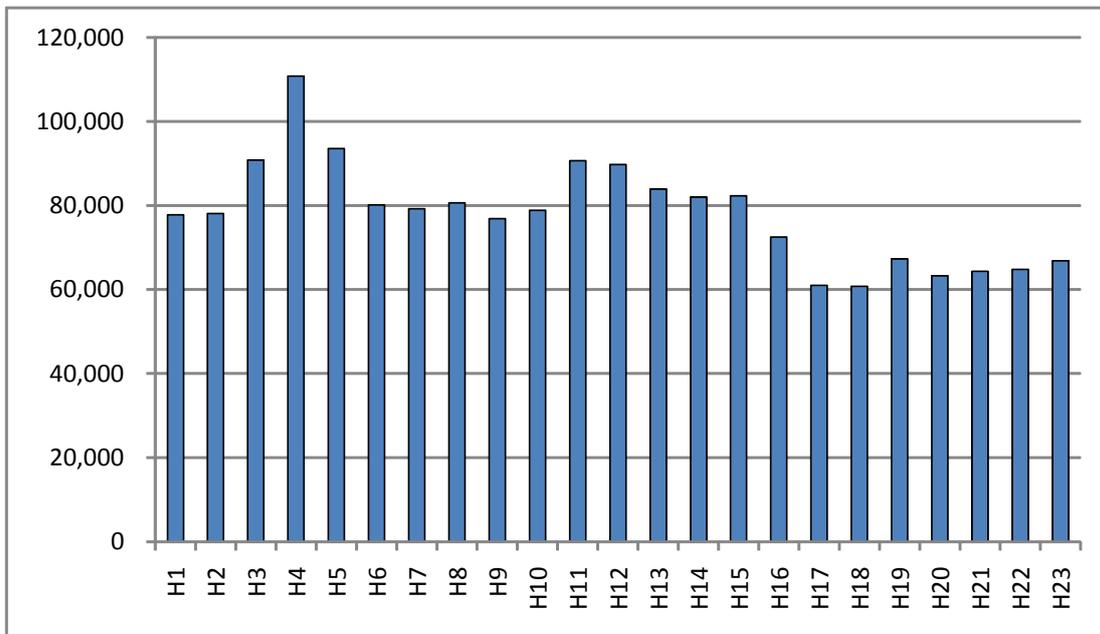


図13 診療所特別会計予算額の推移

(単位:千円)



3 国民健康保険事業

予算総額は、716,170千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で13,202千円、増減率で1.9%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(711,980千円)と比較すると金額で4,190千円、増減率で0.6%の増となっています。

【主な施策】

(1) 特定健康診査事業(7,741千円)

生活習慣の改善を中心とした保健指導を行うことにより、生活習慣病の発症と重症化を減らし、将来的には医療費の減少を目的とします。

表11 国保事業歳入予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 国民健康保険税	288,062	40.2	291,189	41.4	△3,127	△ 1.1
2 使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	168,279	23.5	167,351	23.8	928	0.6
4 療養給付費交付金	5,439	0.8	2,788	0.4	2,651	95.1
5 前期高齢者交付金	60,801	8.5	52,637	7.5	8,164	15.5
6 県支出金	62,407	8.7	62,444	8.9	△37	△ 0.1
7 共同事業交付金	73,389	10.3	75,166	10.7	△1,777	△ 2.4
8 財産収入	105	0.0	206	0.0	△101	△ 49.0
9 繰入金	47,682	6.7	41,181	5.9	6,501	15.8
10 繰越金	10,000	1.4	10,000	1.4	0	0.0
11 諸収入	5	0.0	5	0.0	0	0.0
歳入合計	716,170	100.0	702,968	100.0	13,202	1.9

表12 国保事業歳出予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 総務費	3,235	0.4	3,732	0.5	△497	△ 13.3
2 保険給付費	424,471	59.3	417,015	59.3	7,456	1.8
3 後期高齢者納付金等	97,269	13.6	90,425	12.9	6,844	7.6
4 前期高齢者納付金等	283	0.0	167	0.0	116	69.5
5 老人保健拠出金	7	0.0	7	0.0	0	0.0
6 介護納付金	41,937	5.9	39,896	5.7	2,041	5.1
7 共同事業拠出金	128,428	17.9	131,167	18.7	△2,739	△ 2.1
8 保健事業費	9,008	1.3	9,027	1.3	△19	△ 0.2
9 積立金	1,000	0.1	1,000	0.1	0	0.0
10 公債費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
11 諸支出金	531	0.1	531	0.1	0	0.0
12 予備費	10,000	1.4	10,000	1.4	0	0.0
歳出合計	716,170	100.0	702,968	100.0	13,202	1.9

図14 国保事業歳入予算の構成比

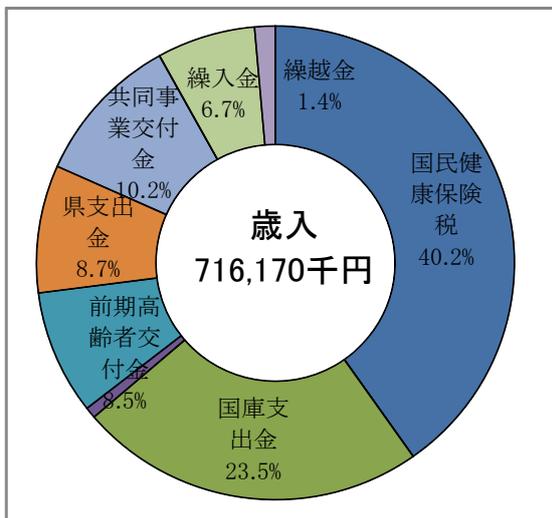


図15 国保事業歳出予算の構成比

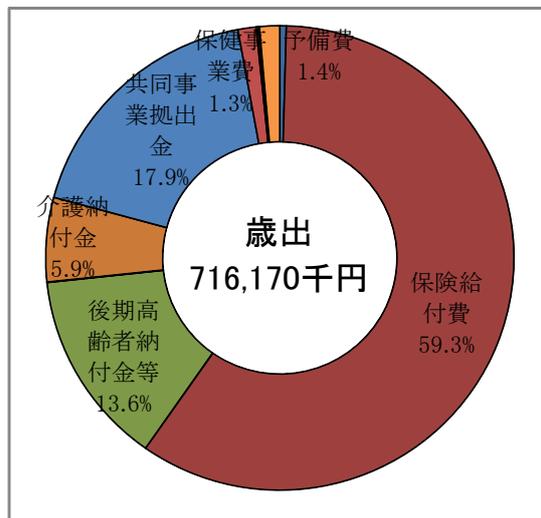
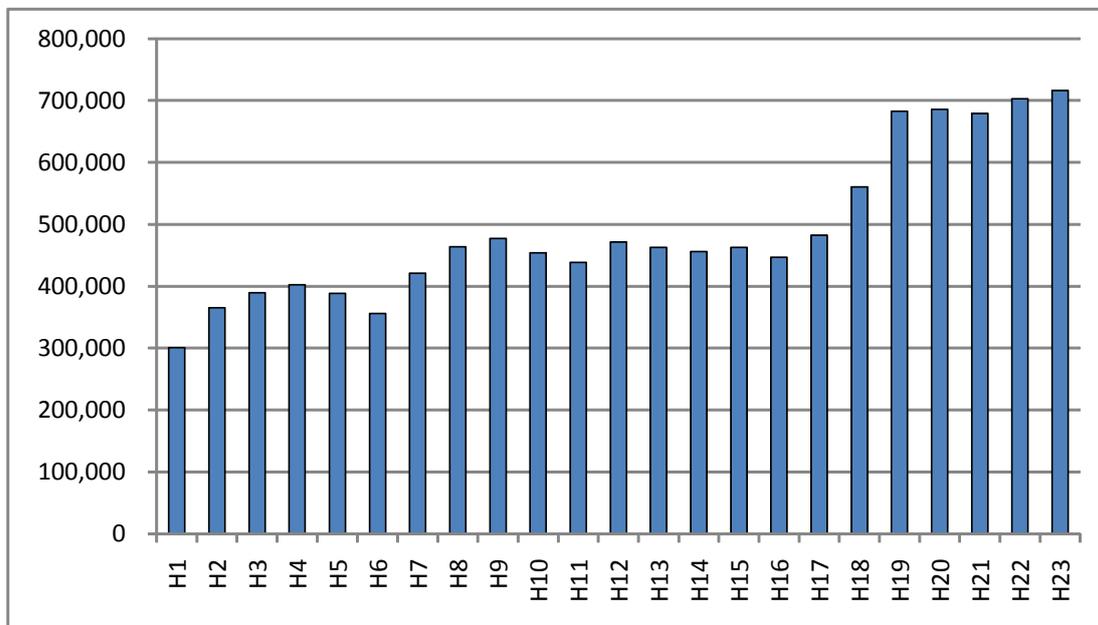


図16 国保特別会計予算額の推移

(単位:千円)



4 公共下水道事業

予算総額は、121,665 千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で△15,084 千円、増減率で11.0%の減となっています。また平成22年度3月現計予算(134,944 千円)と比較すると金額で△13,279 千円、増減率で9.9%の減となっています。

【主な施策】

(1) 人孔蓋改修事業(1,170 千円)

人孔蓋(マンホール)の嵩上げ等工事を実施し、雨水等の侵入を防ぎ不明水の削減に努めます。

(2) 管路施設清掃事業(6,022 千円)

下水管を高压洗浄により清掃することを目的として行うものです。

(3) 汚水中継ポンプ場改築・更新事業(15,316 千円)

ポンプなどの設備の腐食が進んでいるため、改築・更新のための実施設計を行い下水道施設の機能保持に努めます。

表13 下水道事業歳入予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 使用料及び手数料	97,545	80.2	97,882	71.6	△337	△0.3
2 国庫支出金	7,200	5.9	5,500	4.0	1,700	30.9
3 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4 繰入金	8,317	6.8	21,464	15.7	△13,147	△61.3
5 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 諸収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 村債	8,600	7.1	11,900	8.7	△3,300	△27.7
歳入合計	121,665	100.0	136,749	100.0	△15,084	△11.0

表14 下水道事業歳出予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 公共下水道費	76,384	62.8	92,853	67.9	△16,469	△17.7
2 公債費	44,281	36.4	42,896	31.4	1,385	3.2
3 予備費	1,000	0.8	1,000	0.7	0	0.0
歳出合計	121,665	100.0	136,749	100.0	△15,084	△11.0

図17 下水道事業歳入予算の構成比

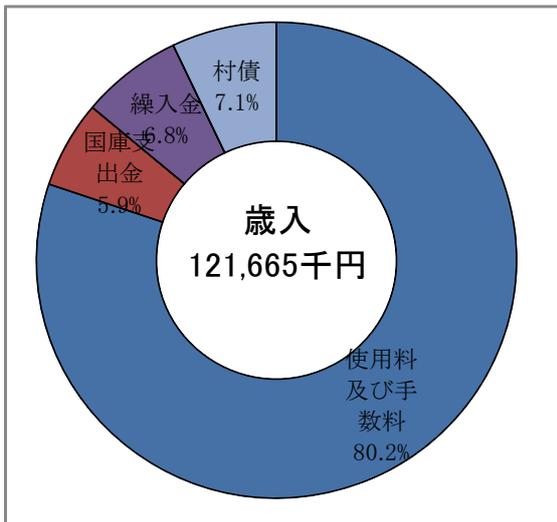


図18 下水道事業歳出予算の構成比

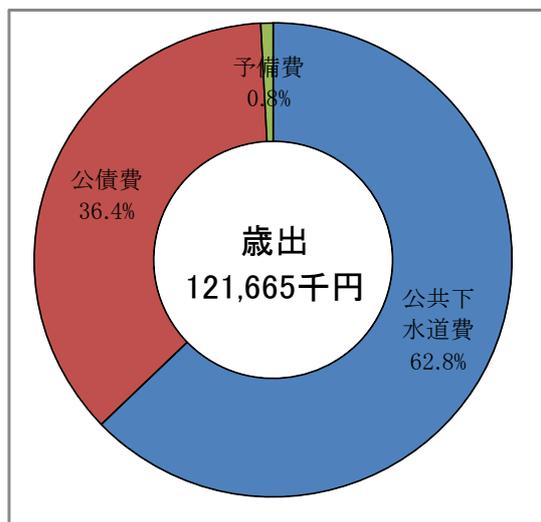
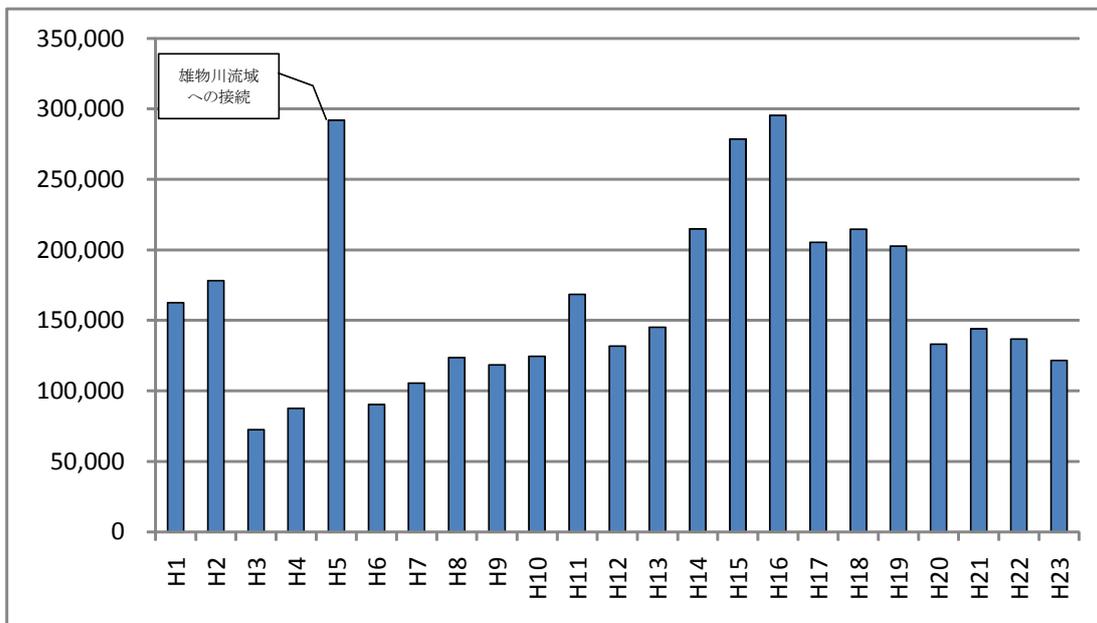


図19 下水道特別会計予算額の推移

(単位:千円)



5 介護保険事業

予算総額は、215,994千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で12,807千円、増減率で6.3%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(213,142千円)と比較すると金額で2,852千円、増減率で1.3%の増となっています。

【主な施策】

(1) 地域包括支援センター運営事業(7,374千円)

高齢者が住み慣れた地域において安心して暮らせるため、事業や相談支援を行う地域包括支援センターの円滑な運営に努めます。

(2) 介護保険地域支援事業(2,717千円)

住み慣れた地域で元気に安心して過せるよう高齢者が要介護状態となることを予防し、介護する家族に対する様々な支援を行います。

表15 介護保険歳入予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 保険料	49,038	22.7	47,284	23.3	1,754	3.7
2 使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	35,016	16.2	32,960	16.2	2,056	6.2
4 支払基金交付金	60,581	28.1	56,840	28.0	3,741	6.6
5 県支出金	31,090	14.4	29,054	14.3	2,036	7.0
6 繰入金	40,241	18.6	37,020	18.2	3,221	8.7
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 諸収入	4	0.0	4	0.0	0	0.0
9 財産収入	22	0.0	23	0.0	△1	0.0
歳入合計	215,994	100.0	203,187	100.0	12,807	6.3

表16 介護保険歳出予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 総務費	5,725	2.7	5,993	3.0	△268	△4.5
2 保険給付費	200,074	92.6	186,494	91.8	13,580	7.3
3 地域支援事業費	2,717	1.3	3,670	1.8	△953	△26.0
4 地域包括支援センター費	7,374	3.4	6,927	3.4	447	6.5
5 積立金	1	0.0	0	0.0	1	---
6 予備費	100	0.1	100	0.1	0	0.0
7 諸支出金	3	0.0	3	0.0	0	0.0
歳出合計	215,994	100.0	203,187	100.0	12,807	6.3

図20 介護保険歳入予算の構成比



図21 介護保険歳出予算の構成比

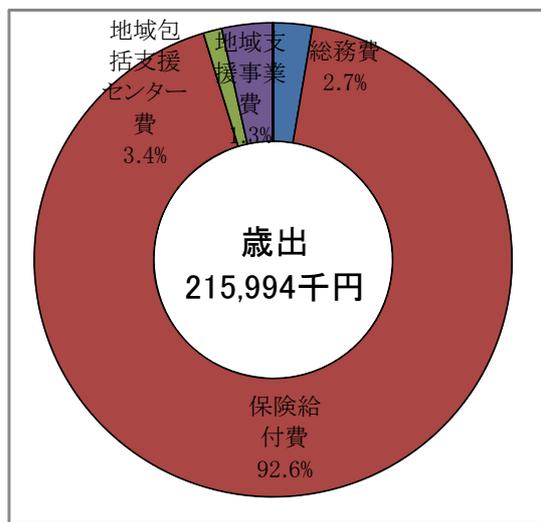
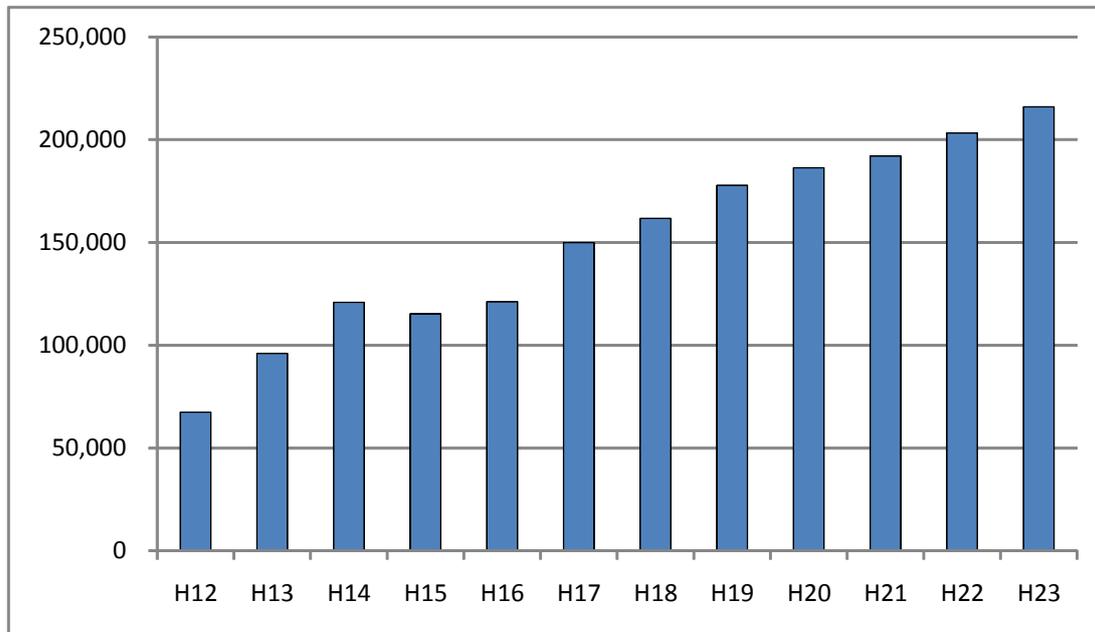


図22 介護保険特別会計予算額の推移

(単位:千円)



6 介護サービス事業

予算総額は、262,795 千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で 20,870 千円、増減率で 8.6%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(264,915 千円)と比較すると金額で△2,120 千円、増減率で 0.8%の減となっています。

【主な施策】

(1) 特養老人ホーム指定管理事業(190,641 千円)

ひだまり苑の管理運営を行い、施設介護サービスの充実を図ります。

(2) 通所介護施設指定管理事業(23,472 千円)

ひだまり苑の管理運営を行い、通所介護サービスの充実を図ります。

(3) ひだまり苑施設整備事業(6,351 千円)

ひだまり苑の施設の補改修や備品購入を行い、介護サービスの充実を図ります。

表17 介護サービス歳入予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 サービス収入	230,653	87.8	229,994	95.1	659	0.3
2 財産収入	10	0.0	40	0.0	△30	△75.0
3 繰入金	31,131	11.9	10,890	4.5	20,241	185.9
4 繰越金	1,000	0.4	1,000	0.4	0	0.0
5 諸収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
歳入合計	262,795	100.0	241,925	100.0	20,870	8.6

表18 介護サービス歳出予算の前年度比較 (単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 総務費	8,478	3.2	3,903	1.6	4,575	117.2
2 サービス事業費	225,125	85.7	208,885	86.3	16,240	7.8
3 積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4 公債費	27,373	10.4	27,373	11.3	0	0.0
5 諸支出金	818	0.3	763	0.3	55	7.2
6 予備費	1,000	0.4	1,000	0.4	0	0.0
歳出合計	262,795	100.0	241,925	100.0	20,870	8.6

図23 介護サービス歳入予算の構成比

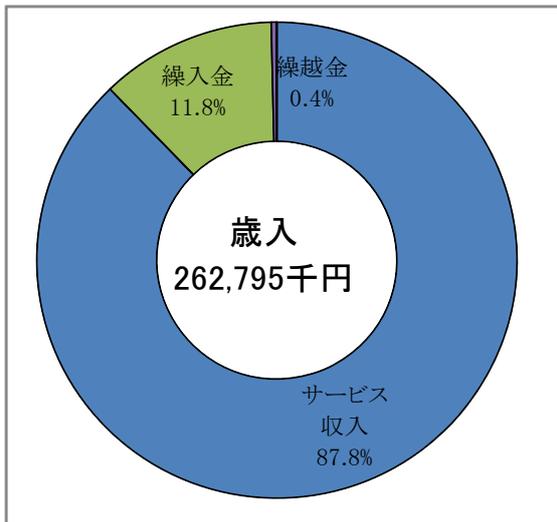


図24 介護サービス歳出予算の構成比

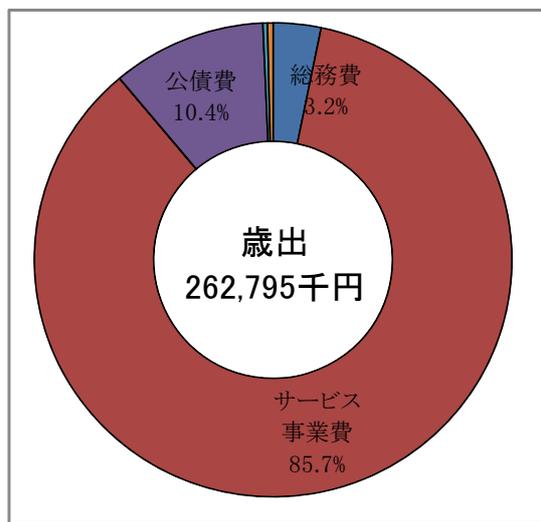
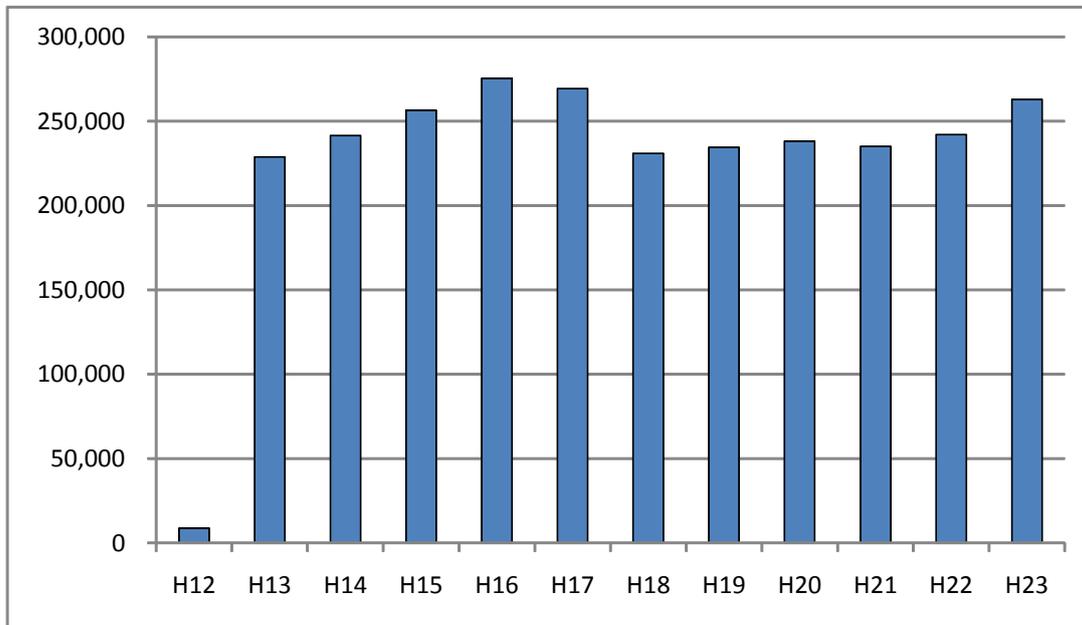


図25 介護サービス特別会計予算額の推移

(単位:千円)



7 後期高齢者医療

予算総額は、35,815 千円となり前年度の当初予算と比較すると金額で 2,338 千円、増減率で 7.0%の増となっています。また平成22年度3月現計予算(36,573 千円)と比較すると金額で△758 千円、増減率で 2.1%の減となっています。

【主な施策】

この制度は、実施主体が広域連合で高齢者保険料、現役世代からの支援、国縣市町村の一定割合の公費負担を財源として運営されています。

これに伴い医療費は広域連合で給付することになり市町村の事務は資格や医療給付などの申請事務と保険料徴収事務になります。

表19 後期高齢者医療歳入予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 後期高齢者医療保険料	30,381	84.8	28,224	84.3	2,157	7.6
2 使用料及び手数料	2	0.0	2	0.0	0	0.0
3 繰入金	5,425	15.2	5,244	15.7	181	3.5
4 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 諸収入	6	0.0	6	0.0	0	0.0
歳入合計	35,815	100.0	33,477	100.0	2,338	7.0

表20 後期高齢者医療歳出予算の前年度比較

(単位:千円,%)

款名	平成23年度		平成22年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 総務費	416	1.2	122	0.4	294	241.0
2 後期高齢者医療広域連合納付金	35,097	98.0	33,053	98.7	2,044	6.2
3 諸支出金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
4 予備費	300	0.8	300	0.9	0	0.0
歳出合計	35,815	100.0	33,477	100.0	2,338	7.0

図26 後期高齢者医療歳入予算の構成比

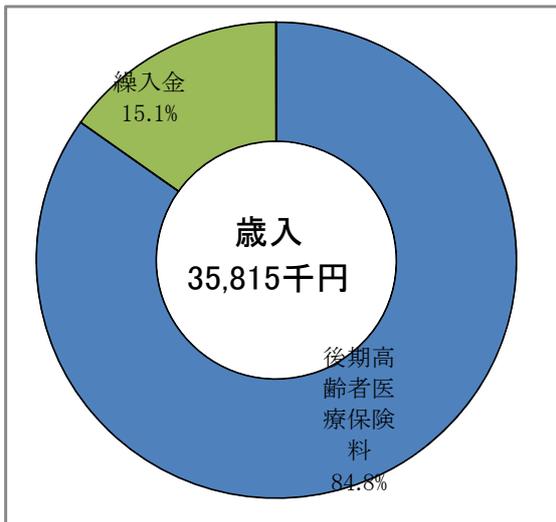


図27 後期高齢者医療歳出予算の構成比

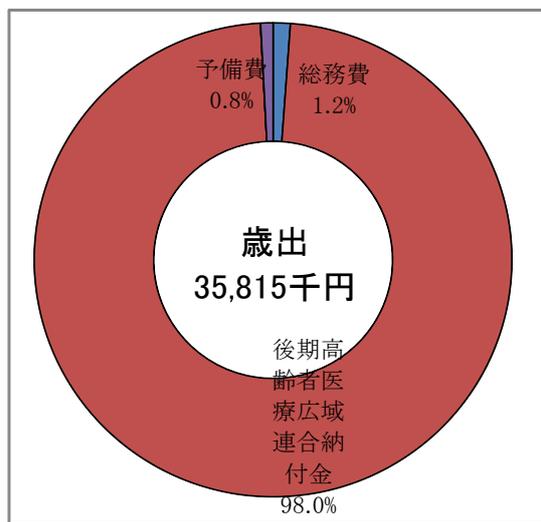
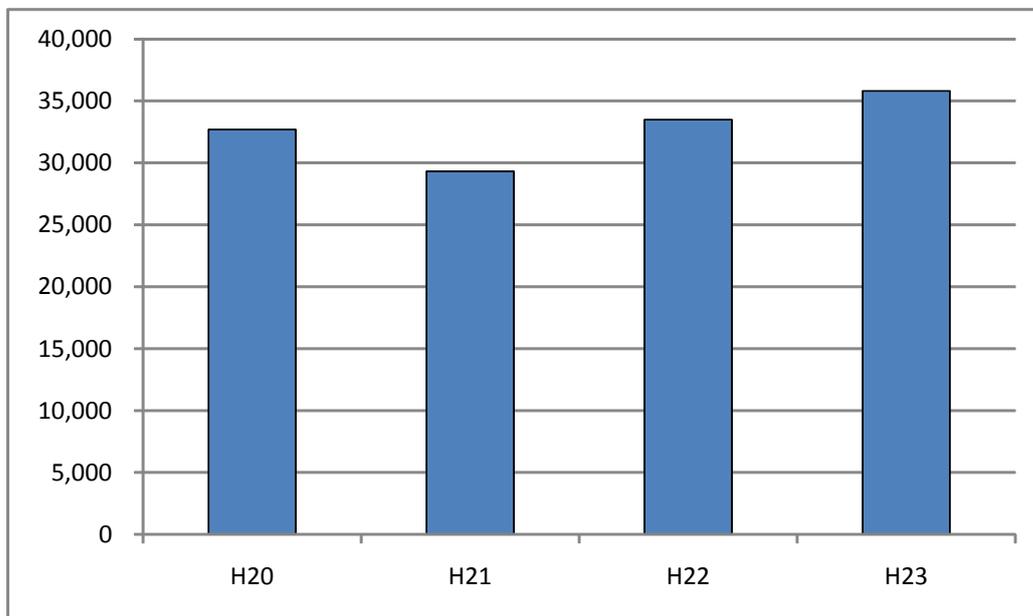


図28 後期高齢者医療特別会計予算額の推移

(単位:千円)



IV 付属資料

1 人件費

表21 人件費の内訳

		人数	給料	職 員 手							
				扶 養	管理職	通 勤	住 居	期 末	勤 勉	寒冷地	時間外
一 般 会 計	議 議員	12	29,268					8,135			
	一 一般職	1	4,709		283		133	1,149	631	51	
	総 特別職	2	14,484					4,026		126	
	務 一般職	11	35,502	816	555	214	1,392	7,990	4,287	595	2,820
	税務総務費	4	14,054	234	389	358	120	3,218	1,740	176	460
	選挙費										
	県議会議員選挙費										588
	社会福祉総務費	12	37,792	1,122	669	938	788	8,412	4,432	746	1,697
	保育園費	4	11,781	216		214		2,653	1,405	194	236
	保健センター費	2	7,234	78		50		1,491	804	88	651
	農業委員会費	1	3,651	390		78		893	445	89	147
	農業総務費	6	19,764	1,134	391	243	678	4,705	2,451	406	2,531
	商工総務費	1	4,505			107		1,052	578	37	901
	土木総務費	1	4,039	390			146	1,022	516	89	162
	教 教育長	1	6,348					1,765		51	
	育 一般職	3	10,334	372	398			2,425	1,288	215	215
	教育研究所費										
	小学校費										
	中学校費										
	幼稚園費	3	10,190	156		214		2,187	1,185	125	306
社会教育総務費	3	11,429	648		321	300	2,746	1,432	215	1,486	
干拓博物館費											
保健体育総務費	2	6,782			136		1,532	841	74	1,472	
体育施設費											
学校給食費											
小 計	69	231,866	5,556	2,685	2,873	3,557	55,401	22,035	3,277	13,672	
特 別 会 計	診療所費	3	15,275	156	397	243	198	3,580	1,947	163	174
	水道費										
	公共下水道費	1	2,575	234				595	300	89	335
	小 計	4	17,850	390	397	243	198	4,175	2,247	252	509
合 計	73	249,716	5,946	3,082	3,116	3,755	59,576	24,282	3,529	14,181	

(注1) 対象者は、議員、特別職、一般職員及び臨時職員です。ALTは含まれません。

(注2) 職員分の負担金は一括管理のため、全て総務管理費に計上しています。

(単位:千円,人)

当 管特勤	等			共済費	負担金	小計	臨 職 賃 金				合 計
	初給調	子ども	計				人数	賃金	社保料	小計	
			8,135		26,083	63,486			---	0	63,486
			2,247	1,557	---	8,513	1	2,453	---	2,453	10,966
			4,152	3,980	6,798	29,414			---	0	29,414
300		4,418	23,387	11,735	49,887	120,511	3	6,980	16,880	23,860	144,371
			6,695	4,555	---	25,304	1	1,943	---	1,943	27,247
			0		---	0			---	0	0
110			698		---	698		86	---	86	784
			18,804	12,316	---	68,912	1	1,971	---	1,971	70,883
			4,918	4,017	---	20,716	16	28,342	---	28,342	49,058
			3,162	2,308	---	12,704	1	2,174	---	2,174	14,878
			2,042	1,202	---	6,895	1	2,394	---	2,394	9,289
			12,539	6,417	---	38,720	2	3,502	---	3,502	42,222
			2,675	1,478	---	8,658			---	0	8,658
			2,325	1,338	---	7,702	1	2,541	---	2,541	10,243
			1,816	1,737	---	9,901			---	0	9,901
			4,913	3,376	---	18,623	4	10,485	---	10,485	29,108
			0		---	0	2	4,399	---	4,399	4,399
			0		---	0	4	5,933	---	5,933	5,933
			0		---	0	3	4,764	---	4,764	4,764
			4,173	3,695	---	18,058	5	10,477	---	10,477	28,535
			7,148	3,741	---	22,318	2	6,234	---	6,234	28,552
			0		---	0	5	10,568	---	10,568	10,568
			4,055	2,199	---	13,036			---	0	13,036
			0		---	0	2	3,456	---	3,456	3,456
			0		---	0	5	8,884	---	8,884	8,884
410	0	4,418	113,884	65,651	82,768	494,169	59	117,586	16,880	134,466	628,635
30	4,931		11,819	4,903	4,013	36,010				0	36,010
			0		---	0	1	2,218		2,219	2,219
			1,553	829	649	5,606	2	4,683		4,685	10,291
30	4,931	0	13,372	5,732	4,662	41,616	3	6,901	0	6,904	48,520
440	4,931	4,418	127,256	71,383	87,430	535,785	62	124,487	16,880	141,370	677,155

2 村 債

図29 村債の年度別償還額

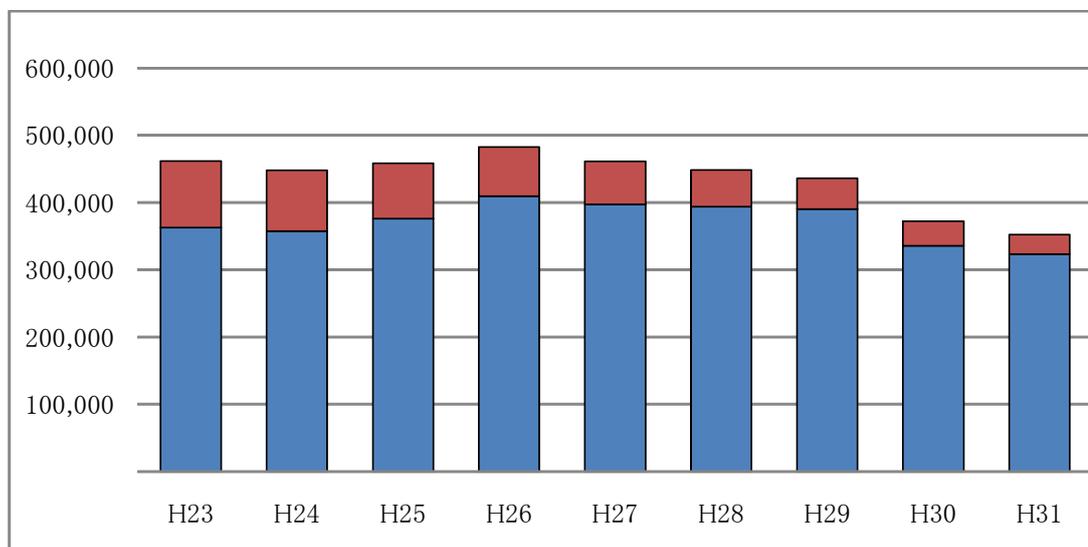


表22 村債の年度別償還額

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
元本	362,741	357,535	376,126	409,517	397,193	393,801	390,443	335,623	323,203
利子	99,167	90,615	82,067	73,247	63,997	54,783	45,636	36,841	29,381
合計	461,908	448,150	458,193	482,764	461,190	448,584	436,079	372,464	352,584

図29 村債の年度別償還額(つづき)

(単位:千円)

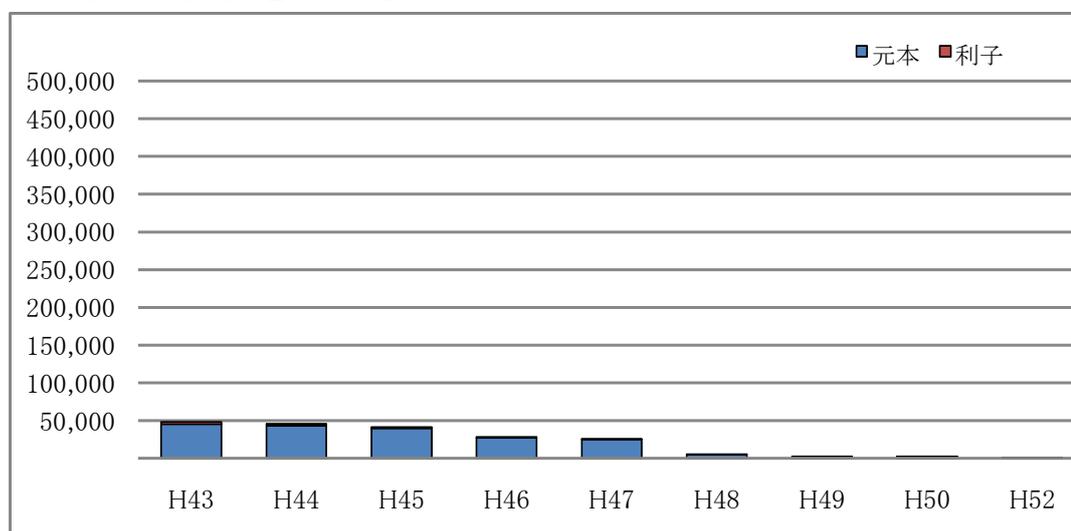
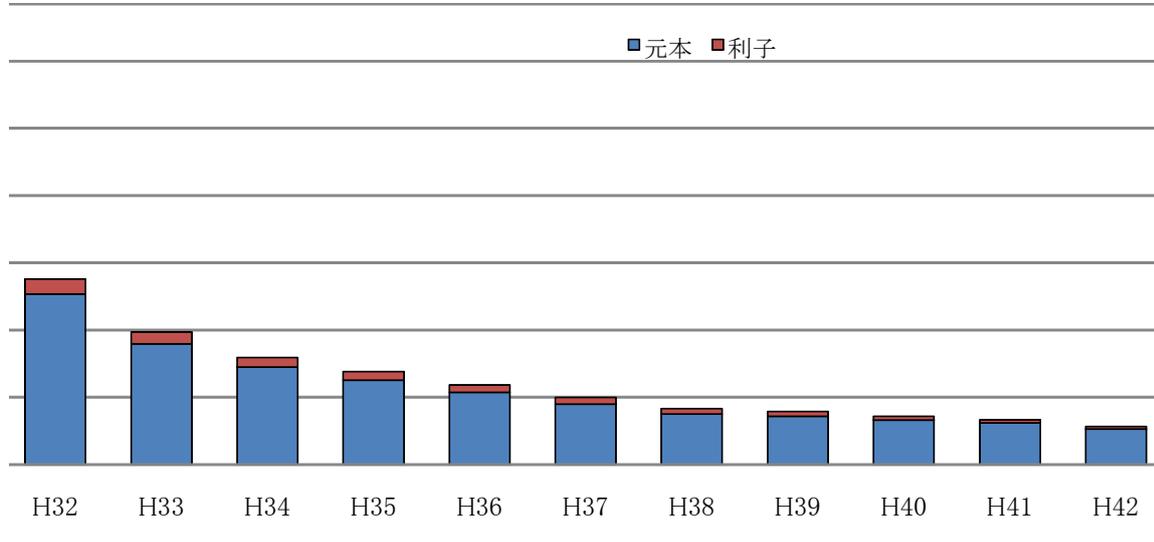


表22 村債の年度別償還額(つづき)

	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H52
元本	45,243	43,423	39,851	27,326	25,114	5,216	2,272	2,318	585
利子	3,151	2,395	1,684	1,063	579	214	123	77	8
合計	48,394	45,818	41,535	28,389	25,693	5,430	2,395	2,395	593

(単位:千円)



H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
253,656	179,610	144,546	125,312	107,013	89,798	74,674	71,691	65,705	61,456	52,526
22,378	17,438	14,603	12,776	11,069	9,602	8,303	7,144	6,014	4,967	4,000
276,034	197,048	159,149	138,088	118,082	99,400	82,977	78,835	71,719	66,423	56,526

合計
5,104,655
802,191
5,906,846

3 基金

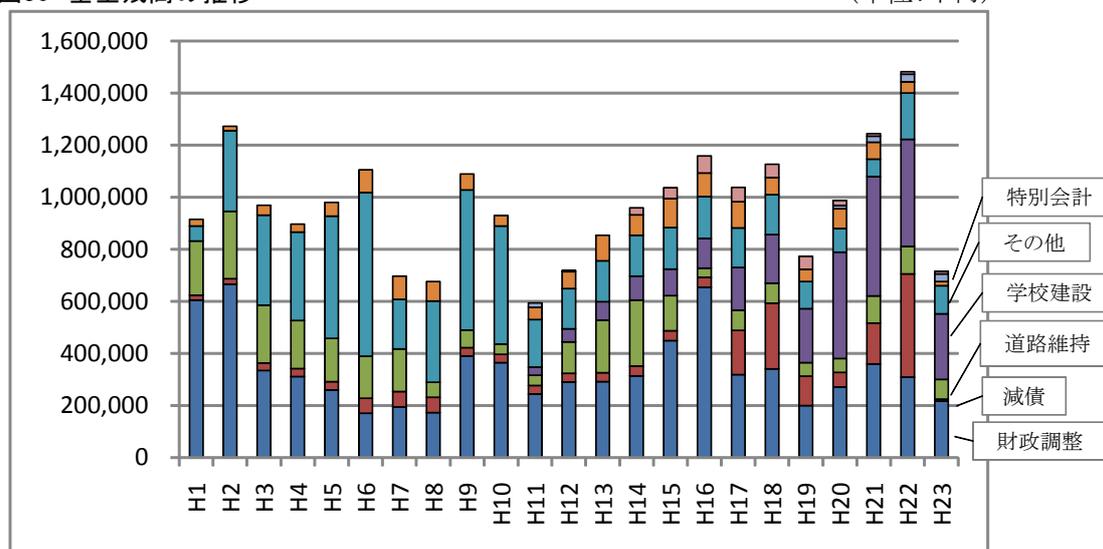
表23 基金取扱見込み

(単位:千円)

基金名	22年度末 現在高 (見込)	23年度		
		期中 積立額	期中 取崩額	年度末 現在高
一般会計				
財政調整基金	309,000	1,000	99,000	211,000
減債基金	400,000	1,000	390,000	11,000
地域振興基金	30,000	1,000		31,000
道路維持管理基金	105,000	1,000	30,000	76,000
地域福祉基金	22,000			22,000
ふるさと水と土保全基金	6,000			6,000
小中学校建設整備基金	409,000		160,000	249,000
土地開発基金	6,000			6,000
世帯厚生資金貸付基金	3,000			3,000
ふるさと応援基金	120			120
観光振興基金	110,000		70,000	40,000
小計	1,400,120	4,000	749,000	655,120
特別会計				
国保財政調整基金	43,000	1,000	28,000	16,000
介護保険	介護給付費準備基金	27,612	1	27,613
	介護従事者処遇改善臨時特例基金	1,772		1,628
	計	29,384	1	1,628
ひだまり苑財政調整基金	10,000	1	1	10,000
小計	82,384	1,002	29,629	53,757
合計	1,482,504	5,002	778,629	708,877

図30 基金残高の推移

(単位:千円)



4 施設管理費の状況

表24 施設等管理費の内訳

(単位:千円)

経費区分	施設管理費の内訳							
	賃金	需用費	役員費	委託料	委託料 (指定管理)	工事 請負費	その他	計
役場庁舎等	334	9,895	1,745	14,806		13,848	110	40,738
多目的会館	69	116	7			315	24	531
コミュニティ会館		510		66				576
ケアハウス		200			20,678	1,001	759	22,638
ふれあい健康館			193	3,287	14,927	3,224	586	22,217
村民センター			108	725	9,593	3,363	678	14,467
保育園	586	4,813	364	402		788	1,091	8,044
保健センター	153	1,423	197	84		951	350	3,158
公衆トイレ	450	484	28			437		1,399
墓地公園	132			794				926
リサイクル施設		730	14	3,495		2,108		6,347
産直センター潟の店				1,323				1,323
商店街アーケード	40	576	16					632
ソーラースポーツライン		1,250	238		4,131	1,100		6,719
ふるさと交流施設				8,119		117,910	128	126,157
温泉保養センター		4,908	133	18,454	41,251	1,892	1,047	67,685
土木総務費管理施設		6,080	21	215				6,316
南の池公園施設		100		300		4,334		4,734
村営住宅	642	2,776	305			4,723		8,446
ポンプ車、救助艇、 防災センター等		1,105	234				59	1,398
小学校	93	10,896	275	2,004			72	13,340
中学校	352	7,923	178	713			72	9,238
幼稚園	352	3,867	115	48		6,129		10,511
生涯学習バス	2,820	1,891	36				95	4,842
公民館	2,616	2,982	95	211		510	308	6,722
青年会館						1,583		1,583
干拓博物館	1,238	8,730	174	2,310		116	124	12,692
体育施設等	4,288	7,053	1,064	7,311	5,530	40,560	2,572	68,378
給食施設		2,002		450			632	3,084
水道施設	4,273	8,065	120	3,155		15,184	50	30,847
診療所	277	2,466	33	320		1,100	129	4,325
下水道施設		4,295	39	7,034		3,170	58	14,596
老人福祉施設		1,320	378	368	214,113	2,345	4,057	222,581
計	18,715	96,456	6,110	75,994	310,223	226,691	13,001	747,190

(注1)各施設で管理する公用車の費用も含まれます。

(注2)賃金は、草刈人夫、管理人夫、日直代行などで臨時職員賃金は含まれません。

(注3)土木総務費管理施設には、街灯、草刈機械、トラクターが含まれます。

(注4)体育施設等には、体育館、野球場、テニスコート、B&Gプール、多目的グラウンド、多目的広場、漕艇場管理棟、艇庫、水上スキー場、ラグビー場が含まれます。

第2部 平成22年度予算の状況

I 補正予算の状況

1 一般会計

平成22年度下半期の補正予算は表25のとおりです。

表25 下半期補正予算 (単位:千円)

区 分	補 正 額	予算現計額
9 月 現 計 予 算 額		4,195,767
1 0 月 補 正 額	5,292	4,201,059
1 2 月 補 正 額	35,243	4,236,302
2 月 補 正 額	50,039	4,286,341
3 月 補 正 額	175,478	4,461,819

(1)10月補正予算の内訳

- ①水道事業特別会計操出金 1,210 千円
- ②全国消防操法大会 4,082 千円

(2)12月補正予算

- ①農地・水・環境保全向上対策営農活動支援事業負担金 28,316 千円
- ②人件費調整ほか 6,927 千円

(3)2月補正予算

- ①子宮頸がん等予防接種事業 5,661 千円
- ②冷温水発生器等更新事業(温泉保養センター) 34,690 千円
- ③図書室環境整備事業(公民館) 9,688 千円

(4)3月補正予算

- ①減債基金・観光振興基金積立金ほか 352,020 千円
- ②後期高齢者医療広域連合負担金 3,585 千円
- ③介護保険事業特別会計操出金 1,530 千円
- ④不用額減額ほか

表26 一般会計歳入予算補正状況

(単位:千円・%)

区 分	9月現計	10月 補正	12月 補正	2月 補正	3月 補正	最終 予算額	構成 比
1 村 税	709,324				56,366	765,690	17.2
2 地方譲与税	100,001					100,001	2.2
3 利子割交付金	2,000					2,000	0.0
4 配当割交付金	300					300	0.0
5 株式等譲渡 所得割交付金	1					1	0.0
6 地方消費税 交付金	29,000					29,000	0.7
7 自動車取得税 交付金	16,901					16,901	0.4
8 地方特例交付金	8,500					8,500	0.2
9 地方交付税	1,247,000				15,738	1,262,738	28.3
10 交通安全対策 特別交付金	1,600					1,600	0.0
11 分担金及び 金	31,659					31,659	0.7
12 使用料及び 手数料	42,756				228	42,984	1.0
13 国庫支出金	808,492			37,222	△42,518	803,196	18.0
14 県支出金	264,153		28	2,459	△14,898	251,742	5.6
15 財産収入	5,949				3,338	9,287	0.2
16 寄附金	101				110,020	110,121	2.5
17 繰入金	101,000				15,916	116,916	2.6
18 繰越金	93,573	4,906	30,515	10,358	13,516	152,868	3.4
19 諸収入	29,057	386			72	29,515	0.7
20 村債	704,400		4,700		17,700	726,800	16.3
計	4,195,767	5,292	35,243	50,039	175,478	4,461,819	100.0

表27 一般会計歳出予算補正状況

(単位:千円・%)

区 分	9月現計	10月 補正	12月 補正	2月 補正	3月 補正	最終 予算額	構成 比
1 議 会 費	56,542		△434		180	56,288	1.3
2 総 務 費	370,778		1,762		347,698	720,238	16.1
3 民 生 費	466,967		5,129		△12,575	459,521	10.3
4 衛 生 費	194,503	1,210	57	5,661	△18,634	182,797	4.1
5 農 林 水 産 業 費	1,149,330		29,184		△81,327	1,097,187	24.6
6 商 工 費	197,548		396	34,690	△9,926	222,708	5.0
7 土 木 費	482,701		35		△25,957	456,779	10.2
8 消 防 費	137,232	4,082			△1,074	140,240	3.1
9 教 育 費	853,136		△876	9,688	△20,027	841,921	18.9
10 災 害 復 旧 費	1					1	0.0
11 公 債 費	277,019				△2,880	274,139	6.1
12 諸 支 出 金	0					0	0.0
13 予 備 費	10,000					10,000	0.2
計	4,195,757	5,292	35,253	50,039	175,478	4,461,819	100.0

2 特別会計

平成22年度下半期の補正予算は表28のとおりです。

表28 下半期特別会計予算 (単位:千円)

区 分	補 正 額	予算現計額
9 月 現 計 予 算 額		1,556,781
1 0 月 補 正 額	1,210	1,557,991
1 2 月 補 正 額	14,064	1,572,055
2 月 補 正 額		1,572,055
3 月 補 正 額	21,731	1,593,786

(1) 10月補正予算の内訳

①水道(No.3ろ過池電動弁交換工事) 1,210 千円

(2) 12月補正予算

①診療所(人件費補正) 111 千円

②国保(一般被保険者高額療養費ほか) 853 千円

③下水道(人件費補正) 22 千円

④介護(地域密着型介護サービス費負担金ほか) 3,378 千円

⑤介護サ(特別養護老人ホーム指定管理料) 2,500 千円

(3) 3月補正予算

①水道(不用額減額) △2,794 千円

②診療所(薬品及び医療材料費ほか) 3,998 千円

②国保(年度末調整) △1,634 千円

③下水道(不用額減額) △1,827 千円

④老保(操出金) 15,916 千円

⑤介護(年度末調整) 5,038 千円

⑥介護サ(操出金) 70 千円

⑦後期(後期高齢者医療広域連合納付金) 2,964 千円

Ⅱ 予算執行の状況

平成22年度予算の執行にあたっては、従来どおり計画的かつ効率的な執行に努めてきました結果、平成23年3月31日現在の執行状況は、次表のとおり一般会計においては、収入率94.5%、支出率86.6%となっており、特別会計においては、収入率94.6%、支出率93.8%となっております。

表29 一般会計の執行状況

(単位:千円・%)

歳 入				歳 出			
科 目	予算現額	収入済額	収入率	科 目	予算現額	支出済額	支出率
1 村 税	765,690	763,335	99.7	1 議 会 費	56,288	55,771	99.1
2 地 方 譲 与 税	100,001	112,206	112.2	2 総 務 費	720,238	726,263	100.8
3 利子割交付金	2,000	1,927	96.4	3 民 生 費	459,521	414,403	90.2
4 配当割交付金	300	605	201.7	4 衛 生 費	182,797	169,009	92.5
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1	150	15000.0	5 農 林 水 産 業 費	1,097,187	641,302	58.5
6 地 方 消 費 税 金	29,000	31,011	106.9	6 商 工 費	222,708	167,395	75.2
7 自 動 車 取 得 税 金	16,901	20,880	123.5	7 土 木 費	456,779	467,897	102.4
8 地 方 特 例 交 付 金	8,500	11,855	139.5	8 消 防 費	140,240	140,424	100.1
9 地 方 交 付 税	1,262,738	1,363,946	108.0	9 教 育 費	841,921	806,344	95.8
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,600	1,676	104.8	10 災 害 復 旧 費	1	0	0.0
11 分 担 金 及 び 金 担	31,659	34,878	110.2	11 公 債 費	274,139	274,053	100.0
12 使 用 料 及 び 料 手 数	42,984	40,954	95.3	12 諸 支 出 金	0	0	0.0
13 国 庫 支 出 金	803,196	532,338	66.3	13 予 備 費	10,000	0	0.0
14 県 支 出 金	251,742	65,724	26.1				
15 財 産 収 入	9,287	10,998	118.4				
16 寄 附 金	110,121	112,264	102.0				
17 繰 入 金	116,916	116,908	100.0				
18 繰 越 金	152,868	234,092	153.1				
19 諸 収 入	29,515	35,002	118.6				
20 村 債	726,800	281,100	38.7				
合 計	4,461,819	3,771,849	84.5	合 計	4,461,819	3,862,861	86.6

表30 特別会計の執行状況

(単位:千円・%)

	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
1 水道事業	147,393	149,434	101.4	147,393	145,323	98.6
2 診療所	68,897	68,864	100.0	68,897	64,458	93.6
3 国民健康保険事業	711,980	702,129	98.6	711,980	655,248	92.0
4 公共下水道事業	134,944	124,310	92.1	134,944	123,696	91.7
5 老人保健(医療)	15,942	15,929	99.9	15,942	15,929	99.9
6 介護保険事業	213,142	179,197	84.1	213,142	191,652	89.9
7 介護サービス事業	264,915	231,628	87.4	264,915	262,827	99.2
8 後期高齢者医療	36,573	36,059	98.6	36,573	36,081	98.7
合 計	1,593,786	1,507,550	94.6	1,593,786	1,495,214	93.8

第3部 財産、公債及び一時借入金の現在高

1. 財 産

(1) 土地及び建物

区 分	土 地 (地 積)			建	
				木 造 (延 面	
	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高
本 庁 舎	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
付 属 車 庫 ・ 倉 庫				26.50	
その 他 の 行 政 機 関	職 員 会 館				
	簡 易 水 道 管 理 舎				
	水 道 緩 速 濾 過 池 施 設				
	取 水 ポ ン プ 場				
	汚 水 中 継 ポ ン プ 場 第 3 中 継 ポ ン プ 場				
	防 災 セ ン タ ー				
	土 木 機 械 格 納 庫				
	ブ ル ド ー ザ ー 車 庫				
	防 火 貯 水 槽				
	東 3 丁 目 消 防 格 納 庫				34.78
	西 2 丁 目 消 防 格 納 庫				34.78
	リ サ イ ク リ ン グ ス テ ー シ ョ ン				
	リ サ イ ク ル 用 空 き 瓶 保 管 庫				
ス ト ッ ク ヤ ード					
小 計				96.06	
公 共 用 財 産	村 営 住 宅			3,733.68	
	村 営 住 宅 (ア パ ー ト)				
	保 育 園				
	幼 稚 園 及 び 付 属 施 設				32.98
	小 学 校				
	小 学 校 付 属 施 設				

物							備 考
積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計			
年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	
m ²							
	2,828.14		2,828.14	2,828.14		2,828.14	
26.50	330.00		330.00	356.50		356.50	
	196.45		196.45	196.45		196.45	
	471.44		471.44	471.44		471.44	
	1,164.20		1,164.20	1,164.20		1,164.20	
	39.19		39.19	39.19		39.19	
	321.19		321.19	321.19		321.19	
	106.63		106.63	106.63		106.63	
	429.70		429.70	429.70		429.70	
	40.00		40.00	40.00		40.00	
	380.44		380.44	380.44		380.44	18槽
34.78				34.78		34.78	
34.78				34.78		34.78	
	100.83		100.83	100.83		100.83	
	60.60		60.60	60.60		60.60	
	70.57		70.57	70.57		70.57	
96.06	6,539.38		6,539.38	6,635.44		6,635.44	
3,733.68	479.10		479.10	4,212.78		4,212.78	東2-1:3戸 中央:1戸 北1:54戸
	1,568.00		1,568.00	1,568.00		1,568.00	特定公共賃貸住宅 2棟24戸
	919.56		919.56	919.56		919.56	
32.98	999.57		999.57	1,032.55		1,032.55	
	5,651.17		5,651.17	5,651.17		5,651.17	
	105.80		105.80	105.80		105.80	

区 分		土 地 (地 積)			建	
					木 造 (延 面)	
		前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高
公 共 用 財 産	中 学 校	m ²				
	中 学 校 付 属 施 設				112.61	
	学 校 ボ イ ラ ー 室					
	公 民 館					
	診 療 所					
	保 健 セ ン タ ー					
	村 民 セ ン タ ー				41.90	
	村 民 セ ン タ ー 付 属 施 設				92.52	
	村 民 セ ン タ ー 分 館					
	墓 地 東 屋					
	墓 地 公 衆 便 所				17.83	
	公 衆 便 所				91.08	
	ち び っ こ 広 場 公 衆 便 所					
	南 の 池 公 園 東 屋				45.93	
	南 の 池 公 園 炊 事 場				29.81	
	青 年 会 館					
	バ ス 待 合 所					
	コ ミ ュ ニ テ ィ 会 館				310.52	
	自 治 会 格 納 庫				154.03	
	村 民 体 育 館					
村 民 体 育 館 付 属 倉 庫				103.68		

物							備 考
積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計			
年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	
m ²							
	4,007.52		4,007.52	4,007.52		4,007.52	
112.61	97.20		97.20	209.81		209.81	
	110.00		110.00	110.00		110.00	
	1,302.27		1,302.27	1,302.27		1,302.27	
	703.35		703.35	703.35		703.35	
	499.00		499.00	499.00		499.00	
41.90	1,374.77		1,374.77	1,416.67		1,416.67	
92.52				92.52		92.52	
	965.85		965.85	965.85		965.85	5館
	22.36		22.36	22.36		22.36	
17.83				17.83		17.83	
91.08				91.08		91.08	4箇所
	19.90		19.90	19.90		19.90	5箇所
45.93				45.93		45.93	
29.81				29.81		29.81	
	72.89		72.89	72.89		72.89	
	16.59		16.59	16.59		16.59	
310.52				310.52		310.52	3館
154.03				154.03		154.03	6棟
	2,365.38		2,365.38	2,365.38		2,365.38	
103.68				103.68		103.68	

区 分		土 地 (地 積)			建	
					木 造 (延 面)	
		前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高
公 共 用 財 産	村民野球場管理棟	m ²				
	村民野球場物置				6.48	
	温泉保養センター					
	温泉保養センター 機 械 室					
	ふれあい健康館					
	ふれあい健康館 車 庫 ・ 倉 庫					
	多目的広場管理棟					
	ポルダール研修館					
	ソーラースポーツライン 管 理 棟				74.52	
	ソーラースポーツライン プ レ ハ ブ 倉 庫					
	ソーラースポーツライン 野 外 ス テ ー ジ					
	ソーラースポーツライン スタートゴールゲート					
	ふるさと交流施設					
	ふるさと交流施設等 総 合 管 理 棟					
	野外交流プレーン 休 憩 室				48.00	
	B & G 海洋センター 管 理 棟					
	B & G 海洋センター 上 屋 付 プ ー ル					
	水上スキー場管理棟					
	水 上 ス キ ー 場 メ イ ン タ ワ ー					
	水上スキー場艇庫					
干 拓 博 物 館						
産直センター潟の店						

物							備 考
積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計			
年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	
m ²							
	193.00		193.00	193.00		193.00	
6.48				6.48		6.48	サブグラウンド
	2,034.80		2,034.80	2,034.80		2,034.80	
	244.65		244.65	244.65		244.65	
	1,673.15		1,673.15	1,673.15		1,673.15	
	133.00		133.00	133.00		133.00	
	193.28		193.28	193.28		193.28	
	1,015.25		1,015.25	1,015.25		1,015.25	
74.52				74.52		74.52	
	264.54		264.54	264.54		264.54	
	179.53		179.53	179.53		179.53	
	12.00		12.00	12.00		12.00	
	1,525.30		1,525.30	1,525.30		1,525.30	
	197.64		197.64	197.64		197.64	
48.00				48.00		48.00	
	209.09		209.09	209.09		209.09	
	875.06		875.06	875.06		875.06	
	99.19		99.19	99.19		99.19	
	46.37		46.37	46.37		46.37	
	97.25		97.25	97.25		97.25	
	2,578.39		2,578.39	2,578.39		2,578.39	
	1,049.00		1,049.00	1,049.00		1,049.00	

区 分		土 地 (地 積)			建	
					木 造 (延 面)	
		前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高
公 共 財 産	特別養護老人ホーム 及びケアハウス	m ²				
	特別養護老人ホーム 付 属 施 設					
	小 計				4,895.57	
普 通 財 産	倉 庫					
	倉 庫					
	店 舗					383.58
	宅 地	4,419.10		4,419.10		
	東 3 - 4 住 宅 地	10,500.87		10,500.87		
	北 2 - 4 分 譲 地	305.93		305.93		
	東 2 - 1 ・ 西 2 - 4 分 譲 地	1,363.30		1,363.30		
小 計	16,589.20		16,589.20		383.58	
公 用 公 共 用 地		384,642.86	△ 8.37	384,634.49		
発 展 用 地		828,298.48		828,298.48		
緑 道		141,581.17	△ 950.58	140,630.59		
緑 地		302,576.25		302,576.25		
防 災 林		5,055,972.76		5,055,972.76		
排 水 路		350,513.97		350,513.97		
池 沼		157,819.20		157,819.20		
小 計		7,221,404.69	△ 958.95	7,220,445.74		
合 計		7,237,993.89	△ 958.95	7,237,034.94	4,991.63	383.58

物							備 考
積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計			
	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高	前年度末 現在高	年度中 増減高	
	m ²						
		4,897.41		4,897.41	4,897.41		4,897.41
		25.31		25.31	25.31		25.31
4,895.57	38,823.49		38,823.49	43,719.06			43,719.06
	171.40		171.40	171.40			171.40
	119.25		119.25	119.25			119.25
383.58		116.68	116.68		500.26	500.26	500.26
							中央4-11・旧大潟地区衛生処理組合
							17区画分
	110.95		110.95	110.95		110.95	旧秋田県立大学大潟 公舎用地・建物
383.58	401.60	116.68	518.28	401.60	500.26	901.86	
							境内地
							境内地
5,375.21	45,764.47	116.68	45,881.15	50,756.10	500.26	51,256.36	

(2) 物 権

(単位: m²)

区 分	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高
温泉権	9	0	9

(3) 有価証券

(単位: 千円)

区 分	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高
(株)大潟村カントリーエレベーター公社株券	100,000		100,000
(株)秋田県食肉流通公社株券	40		40
(株)ルーラル大潟株券	120,000		120,000
計	220,040	0	220,040

(4) 出資による権利

(単位: 千円)

区 分	前年度末 現在高	年度中 増減高	年度末 現在高
秋田県農業信用基金協会出資金	13,600		13,600
秋田県町村土地開発公社出資金	221		221
秋田県土地改良振興基金出資金	720		720
(社)秋田県青果物価格安定基金協会出資金	700		700
(社)秋田県農業公社出資金	200		200
(社)秋田県建設技術センター出資金	30		30
地方公営企業等金融機構出資金	400		400
(財)秋田県公的医療機関振興会出捐金	16		16
(財)大潟村観光物産振興公社出捐金	40,000	△ 40,000	0
秋田県信用保証協会出捐金	543		543
(財)秋田県長寿社会振興財団出捐金	20		20
(財)本道医学振興会出捐金	135		135
(財)暴力団壊滅秋田県民会議出捐金	88		88
(財)秋田県労働者信用基金協会出捐金	160		160
(財)秋田県臓器移植推進協会出捐金	270		270
秋田赤十字病院移転新築事業出捐金	506		506
(財)秋田県青年会館出捐金	160		160
(財)秋田県総合公社出捐金	344		344
(財)秋田県国際交流協会出捐金	335		335
計	58,448	△ 40,000	18,448

(5) 物品(取得価格50万円以上のもの)

(単位:台、枚)

区 分		前年度末 現在高	年度中		年度末 現在高
			増	減	
庁舎事務機器類	円テーブル	1			1
	会議用机	1			1
	フォームバスター	1			1
	無停電電源装置一式	1		1	0
	在宅医療支援システム一式	1			1
	介護保険事務システム一式	1			1
	総合行政ネットワークシステム一式	1			1
	年金未納者対策システム一式	1			1
	地域包括支援センターシステム一覽	1			1
	後期高齢者医療制度システム	1			1
	住民記録・税務システム	1			1
	パソコン機器及び校内管理用サーバー機器一式	1			1
	国保ライン/調交システム一式	1			1
計	13	0	1	12	
電動機械及び諸機械器具類	ボイラー	6			6
	電話交換機	1			1
	ビデオプロジェクター一式	1			1
	自家用発電機	10			10
	自動食器洗機	1			1
	食器清浄機	2			2
	食器消毒保管庫	2			2
	牛乳保冷庫	1			1
	冷凍冷蔵庫	1			1
	魚焼器	1			1
	音響制御ユニット	1			1
	券売機	1			1
	水上スキー用ジャンプ台	1			1
	水上スキー用浮き桟橋	1			1
	水上スキー用スロープ	1			1
	ジャンプ計測機器	2			2
	観客席	10			10
	あき缶自動圧縮機(カンプレッサー)	1			1
	あき缶回収コンベア	1			1
	ペットボトル減容機	1			1
ゴミ計量器(フラットスケール)	1			1	

(単位:台、枚)

区 分		前年度末 現在高	年度中		年度末 現在高
			増	減	
電動 機械 及び 諸機 械器 具類	ケスナーブラシ	2			2
	塩素ガス漏洩検知警報計	1			1
	加圧ポンプ	3			3
	充電機	1			1
	次亜塩注入機	2			2
	パック注入器	2			2
	ソーダ灰注入機	2			2
	浄水濁度計	1			1
	水中渦巻ポンプ	2			2
	水中渦巻ポンプ(予備)	1			1
	ポータブル型超音波流量計	1			1
	塩素注入機	3			3
	計	68	0	0	68
農 業 及 び 土 木 機 械 類	除雪機械	1			1
	ロータリーモア	1			1
	除雪トラック	1			1
	小型除雪車及び草刈装置	1			1
	水中深井戸ポンプ	5			5
	コートローラー	1			1
	芝刈機	2			2
	フォークリフト	1			1
	湿地ブルドーザー	1			1
	計	14	0	0	14
医 療 及 び 実 験 用 具 類	X線自動現像機	1		1	0
	リニア式電子走査型超音波診断装置	1			1
	眼底カメラ	1			1
	酸素濃縮器	1			1
	液体酸素供給装置	3			3
	電動ローリングベット	4			4
	ヘルストロン	1		1	0
		計	12	0	2
	パソコン聞き及び校内管理用サーバー機器	1			1
	ピアノ	5			5
	自動カンナ盤	1			1
	小型旋盤	1			1

(単位:台、枚)

区 分		前年度末 現在高	年度中		年度末 現在高
			増	減	
教養 及び 体育 用具類	室内電光得点表示板	1			1
	サッカーゴール	1			1
	リソー輪転機	1			1
	教育用ネットワークシステム一式(PC45台)	1			1
	小学校図書管理パソコンシステム	1			1
	理科実験設備	1			1
	カラー教材提示装置	1			1
	16mm映写機	1			1
	カセットビデオテープレコーダー	3			3
	カラーAV調整卓	1			1
	特殊効果装置	1		1	0
	競技用ボート(ナックルフォア)	8			8
	競技用ボート(ダブルスカル)	3			3
	太鼓	2			2
	冷房専用エアコン	1			1
	スピーカー	2			2
	デリカステージ1式	1			1
	コンビ沐浴ユニット	1			1
	陶芸窯	1			1
	プールクリーナ	1			1
	移動書庫	1			1
	コンビネーション遊具	1		1	0
	保育園園庭遊具	1			1
	レーザーカラオケ	1			1
閲覧テーブル	1			1	
チューバ(音楽楽器)	1			1	
ランニングマシーン	1			1	
	計	48	0	2	46
車 両 及 び 船	普通乗用自動車	8			8
	軽乗用自動車	2			2
	普通貨物自動車	2			2
	消防ポンプ自動車	1			1
	軽消防自動車	2			2
	可搬式ポンプ	2			2
	小型動力ポンプ	2		1	1

(単位:台、枚)

区 分		前年度末 現在高	年度中		年度末 現在高
			増	減	
	大型バス	1			1
	軽トラック	3			3
	曳航艇	2			2
	救助艇	2			2
	計	27	0	1	26
（産直センター・潟の店） 普通財産	精肉用冷ケース	1			1
	日配用冷ケース	1			1
	プレハブ冷蔵庫	2			2
	冷蔵多段オープンショーケース	7		1	6
	楕円レジカウンター	2			2
	レジカウンター	1			1
	食器洗浄機	1			1
	冷凍冷蔵庫	1			1
計	16	0	1	15	
（温泉保養センター） 普通財産	電話交換機	1			1
	冷凍冷蔵庫	3			3
	カップヌードル自動販売機	1			1
	軽トラック	1			1
	生ゴミ処理機	1			1
計	7	0	0	7	
（ふるさと交流施設） 普通財産	アングル付バスケットゴールキャスター	1			1
	ドウコンディショナー	1			1
	ミキサー	1			1
	急速凍結庫	1			1
	リバースシート	1			1
	分割まるめ機	1			1
	料理用台車	6			6
	OHP	1			1
	液晶プロジェクター	1			1
	スクリーン	1			1
	調理用台車	1			1
	研磨システム器	1			1
	冷蔵庫	1			1
シャンパンシャワー	1			1	
ゴールドンスキャン	4			4	

(単位:台、枚)

区 分		前年度末 現在高	年度中		年度末 現在高
			増	減	
	マスターピース	2			2
	ウェーブロール	1			1
	ピアノ	1			1
	エレクトーン	1			1
	たばこ自動販売機	1			1
計		29	0	0	29
普通 財 産 (ひ だ ま り 苑)	全自動汚物除去機	1			1
	全自動洗濯脱水機	1			1
	乾燥機	2			2
	オンラインバス(特殊浴槽)	1			1
	ハローリフター	1			1
	チェアーインバス	1			1
	コンビオープン	1			1
	冷温蔵配膳車	4			4
	心電図	1			1
	普通乗用自動車	1			1
	特殊乗用自動車	2			2
	軽乗用自動車	2			2
特殊バス	1			1	
計		19	0	0	19
普通 財 産 (S S L)	総合気象観測装置	1			1
	ストローチョッパー	1			1
	トラクター	1			1
	ディスクモア	1			1
計		4	0	0	4
総 合 計		257	0	7	250

2. 公債及び一時借入金

- (1) 公債は46～47ページを参照してください。
- (2) 平成22年度下半期の一時借り入れはありませんでした

3. 基金

※金額は平成23年3月31日現在です。

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中		決算年度末 現在高
		増	減	
財政調整基金	359,000	1,000	51,000	309,000
減債基金	157,000	243,000		400,000
地域振興基金	29,000	1,000		30,000
道路維持管理基金	104,000	1,000		105,000
地域福祉基金	22,000			22,000
ふるさと水と土保全基金	6,000			6,000
小中学校建設整備資金	459,000		50,000	409,000
土地開発基金	6,000			6,000
世帯厚生資金貸付基金	3,000			3,000
ふるさと応援基金	0	120		120
観光振興基金	0	112,143		112,143
国民健康保険事業財政調整基金	65,000		23,000	42,000
ひだまり苑財政調整基金	10,000			10,000
介護給付費準備基金	21,653	5,958		27,611
介護従事者処遇改善臨時特例基金	2,273	1	500	1,774
合 計	1,243,926	364,222	124,500	1,483,648



平成22年度下期
大瀧村財政報告書